

The 33rd Annual Meeting of Japanese Society of Dentistry for Medically Compromised Patients



第33回 一般社団法人 日本有病者歯科医療学会 総会・学術大会

地域で支える有病者歯科医療

地域完結型医療、地域共生社会に向けた新展開

プログラム

会期 2024年3月8日(金)～10日(日)

会場 新潟グランドホテル
新潟市中央区下大川通3ノ2230番地

形式 現地開催+オンデマンド配信
[ハイブリッド形式]

大会長 田中 彰 日本歯科大学新潟生命歯学部
口腔外科学講座教授

副大会長 松崎 正樹 一般社団法人
新潟県歯科医師会会長

実行委員長 戸谷 収二 日本歯科大学新潟病院
口腔外科教授

準備委員長 佐久間 要 日本歯科大学新潟生命歯学部
口腔外科学講座

主催事務局 日本歯科大学新潟生命歯学部口腔外科内
〒951-8580 新潟市中央区浜浦町1-8
TEL 025-211-2113

運営事務局 株式会社シンセンメディカルコミュニケーションズ内
〒950-0983 新潟市中央区神道寺1丁目6-14
TEL 025-278-7232 FAX 025-278-7285
E-mail : jsdmcp33@shinsen-mc.co.jp

主催：一般社団法人 日本有病者歯科医療学会 後援：一般社団法人 新潟県歯科医師会

第33回 一般社団法人

日本有病者歯科医療学会 総会・学術大会

地域で支える有病者歯科医療

地域完結型医療，地域共生社会に向けた新展開

プログラム

会 期：2024年**3月8日(金)～10日(日)**

開 催 方 法：現地開催＋オンデマンド配信 [ハイブリッド形式]

大 会 会 場：**新潟グランドホテル**

〒951-8052 新潟市中央区下大川通3ノ2230番地

TEL: 025-228-6111

大 会 長：田中 彰 (日本歯科大学新潟生命歯学部口腔外科学講座教授)

副 大 会 長：松崎 正樹 (一般社団法人新潟県歯科医師会会長)

実行委員長：戸谷 収二 (日本歯科大学新潟病院口腔外科教授)

準備委員長：佐久間 要 (日本歯科大学新潟生命歯学部口腔外科学講座)

主 催：一般社団法人 日本有病者歯科医療学会

後 援：一般社団法人 新潟県歯科医師会

目 次

大会長挨拶	4
理事長挨拶	6
会場までのアクセス	8
会場案内図	9
学術大会参加の方へ	10
座長・演者へのご案内	15
ポスター会場	19
学会日程表	20
開催記録	24
プログラム	25
協賛企業一覧	

大会長挨拶

第33回（一社）日本有病者歯科医療学会総会・学術大会
日本歯科大学新潟生命歯学部口腔外科学講座

大会長 田 中 彰



COVID-19 感染症が5類感染症対応となり、医療の現場では新たな感染症対策を踏まえて、ニューノーマルな医療体制が構築されつつあります。そのような中で、新年早々発災しました能登半島地震において、亡くなられた方々に心からお悔やみを申し上げるとともに、被災された全ての方々にお見舞いを申し上げます。厳しい状況のなかで、大会を開催させていただきますことを感謝申し上げます。そして、多くの会員が新潟に集い、直に学び、真摯にディスカッションしていただけることを望んでおります。また、コロナ禍で広く普及したオンデマンド配信は、有用な研修機会となっており、第33回大会は、主要プログラムのオンデマンド配信を3月25日から5月1日まで実施いたします。皆様のご利用をお願い申し上げます。

今大会は、テーマを、「地域で支える有病者歯科医療—地域完結型医療、地域共生社会に向けた新展開—」とさせていただきました。医療だけでなく地域歯科医療においても医療体制の再編成が求められています。前回大会でも取り上げられた地域医療構想、地域包括ケア体制構築に向けて求められている地域完結型の歯科医療体制、地域における1.5次歯科医療、そして有病者歯科医療の果たす役割について考える機会として、シンポジウム「地域医療構想と地域歯科医療の新展開 地域における病診、診診連携の未来」を企画いたしました。基調講演として、前新潟県福祉保健部長、現厚生労働省医系技官の松本晴樹先生に「新潟県に部長として赴任して～医師数最低県が目指す医師確保策～そして医療再編」と題して新潟県で取り組まれた医療再編についてご講演いただき、地域基幹病院病院長、歯科医師会、病院歯科、地域歯科医療の立場から4名のシンポジストにご登壇いただきます。実り多きディスカッションが期待されます。また、特別講演として新潟青稜大学大学院教授 碓井真史先生に「しなやかな人間関係を作る方法：対人認知、自己認知、メタ認知の心理学」と題してご講演いただきます。同講演は、歯科専門医共通研修「②患者・医療者関係の構築」に登録されております。患者・医療者心理に関わる貴重なご講演ですので、ご聴講ください。さらにシンポジウム「総合歯科専門医（仮称）に向けて、関連学会を知る」では、日本老年歯科学会理事長 水口俊介先生、前日本障害者歯科医療学会理事長 小笠原正先生、本学会から石垣佳希副理事長にご登壇いただき、それぞれの学会の取り組みを知り、相互理解を深めあう機会と考えています。このほか、学術教育研修会、教育講演を2演題、歯科衛生士セッションとしてシンポジウム「多職種で挑む口腔健康管理」、ICD 講習会「ウイルス性肝炎の Up

To Date と院内感染対策」を企画しております。そして、新たな取り組みとして本学会認定歯科衛生士委員会と医療連携委員会の共同企画として、認定歯科衛生士のための口腔咽頭吸引ハンズオンセミナーを開催します。

一方、学会の準備期間中、能登半島地震の被災地では歯科保健医療支援活動が展開され本格化していました。新潟は過去に中越地震、中越沖地震と2度の被災県として、支援活動を行なっております。発災後直近の学術大会として、緊急セッションを行い情報発信することにいたしました。被災地で活動続ける東京医科歯科大学救急災害医学分野の中久木康一先生に急遽ご登壇いただき、能登半島地震における歯科保健支援活動の特徴についてのご講演、フロアと意見交換を予定しております。

3月初旬の新潟は降雪も少なく、冬が旬の魚である「のどぐろ」が味わえるほか、新潟県外に出荷されることが少ない幻の絶品イチゴ「越後姫」を楽しんでいただけます。そして、県内の酒蔵からの新酒もほぼ出揃う状況ですので、食と新潟の酒、米が皆様をお待ちしております。また、当日は、朱鷺メッセにおいて「にいがた酒の陣 2024」の開催が予定されております。会員懇親会では、本家本元に負けない様に第33回大会にちなんで「大会長厳選新潟県内酒造33本呑み比べミニSAKEの陣」を企画しているほか、複数の新潟県内産地のコシヒカリを味わっていただく予定ですので、是非ご参加ください。

最後に、貴重な大会開催の機会を頂き、多大なるご協力いただきました学会関係者の皆様、大会開催にご協賛いただきました後援団体、協賛企業各位に心より感謝申し上げます。医局員一同で、皆様をお迎えすべく準備を進めて参りますので、多数の方の参加をお待ちしております。

第33回日本有病者歯科医療学会 総会・学術大会の開催を祝して



(一社)日本有病者歯科医療学会
理事長 坂下 英明

第33回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会が2024年3月8日—10日の期日にて、日本歯科大学新潟生命歯学部口腔外科学講座教授田中 彰大会長のもとで、「地域で支える有病者歯科医療—地域完結型医療，地域共生社会に向けた新展開—」をテーマとして新潟グランドホテルにて開催されます。

最近，新型コロナウイルス感染のパンデミックは，ようやく収束の傾向をみせて来ました。しかし，一度は世界中の人々の生活様式を変え，約4年の歳月を経ても完全収束の目処が立たず，または完全収束しない可能性もあります。このため，本大会もHybrid開催となりました。しかし，大会長をはじめとする関係者の努力と配慮および参加者各位の医療人としての自覚を持った行動の基で，対面形式でも活発な学会運営が行われると確信しております。

我が国における急速な高齢化の加速には，驚くべきものがあります。すなわち，65歳以上の高齢化率は，1950年には総人口の5%に満たないものであったが，1970年には国連の「高齢化社会」の定義の7%を超え，1994年には14%を超えて「高齢社会」といわれました。その後，2013年には25%を超え，2020年以降になると高齢者人口は，約3,600～3,800万人の間でほぼ横ばいで推移しています。しかし，総人口の減少のため，高齢者率は上昇しています。さらに，2024年には30.1%となるとの予測であり，20%から30%へ上昇する期間（19年間）は10%から20%まで上昇した期間（20年間）よりもさらに短くなる見込みです。

一方，2013年の日本人の平均寿命は男性が80.21年，女性が86.61年であり，また，健康寿命は，男性71.19年，女性74.21年となっている。平均寿命と健康寿命の差は，2001年では男性8.67年，女性12.28年であり，2013年では男性9.02年，女性12.4年とその差は広がってきています。すなわち，平均寿命の伸びほど健康寿命が伸びてはおりません。

日本の人口減少と少子高齢化が進行し，2040年に顕著に表面化するさまざまな社会問題の総称である「2040年問題」には，歯科治療が必要な高齢有病者が，多剤服用者である場合も含まれると考えています。このような中で，我が国の超高齢化の社会構造と介護を含む医療体制には，さらに解決が必要な問題も多くあります。このような点からも，本学会の重要性は益々大きくなっていくことでしょう。

現在，医学・医療の日進月歩の進歩の基で，有病者歯科医療はその疾患への治療の進歩におけ

る歯科的对応のみではなく、その医療供給体制をも検討する必要がある時代が来ております。このため、本大会のテーマ「地域で支える有病者歯科医療—地域完結型医療、地域共生社会に向けた新展開—」は、有病歯科医療を地域完結型医療の一部と考え、さらには地域共生社会の中で役割を考えるという時を得た企画と考えます。

各企画や発表を Web 参加のみならず、対面形式でも活発な質疑応答行っていただくことを、参加者各位にはお願いいたします。

本学会開催にあたり、本大会開催にご協力いただきました新潟県市歯科医師会関係者各位に謝辞を献じます。最後に、第 33 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会の盛会を、確信しております。

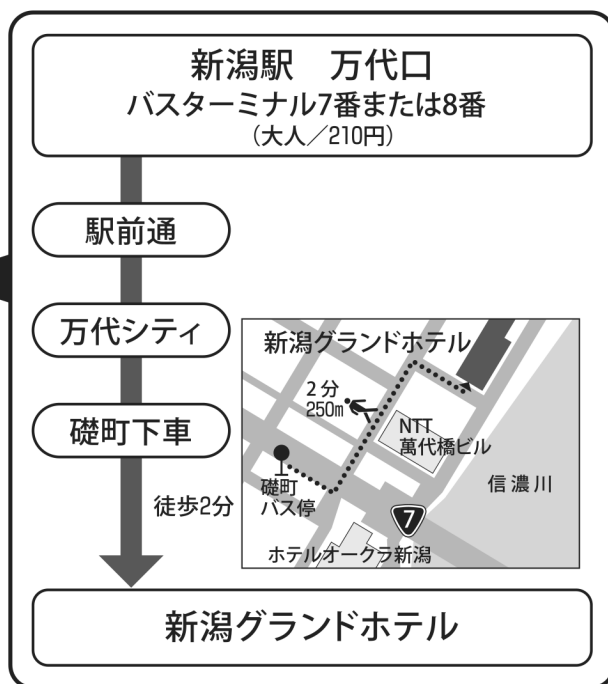
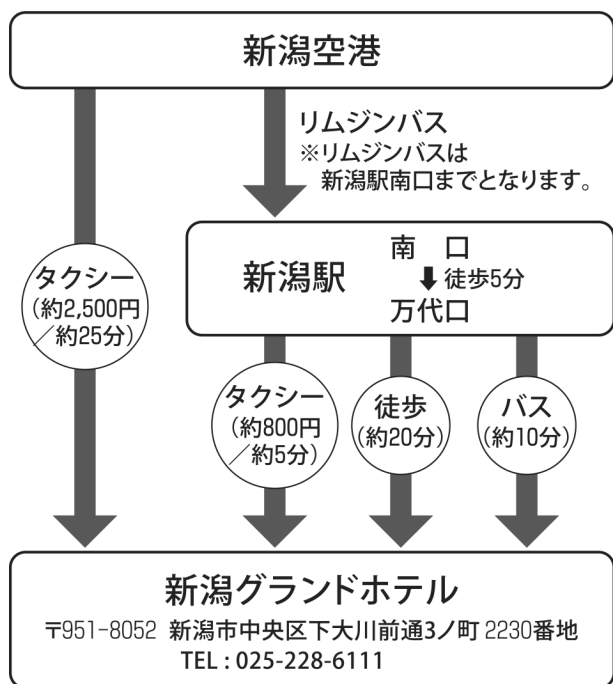
本原稿を校了しました時点で、令和 6 年の能登地震の報を受けました。さらに、羽田空港事故の報も受けました。ここに全ての犠牲者に哀悼の意を表し、被災者や事故関係者の皆様が 1 時間でも早く、日常が元の状態に近づきますことををお祈りしております。

会場までのアクセス

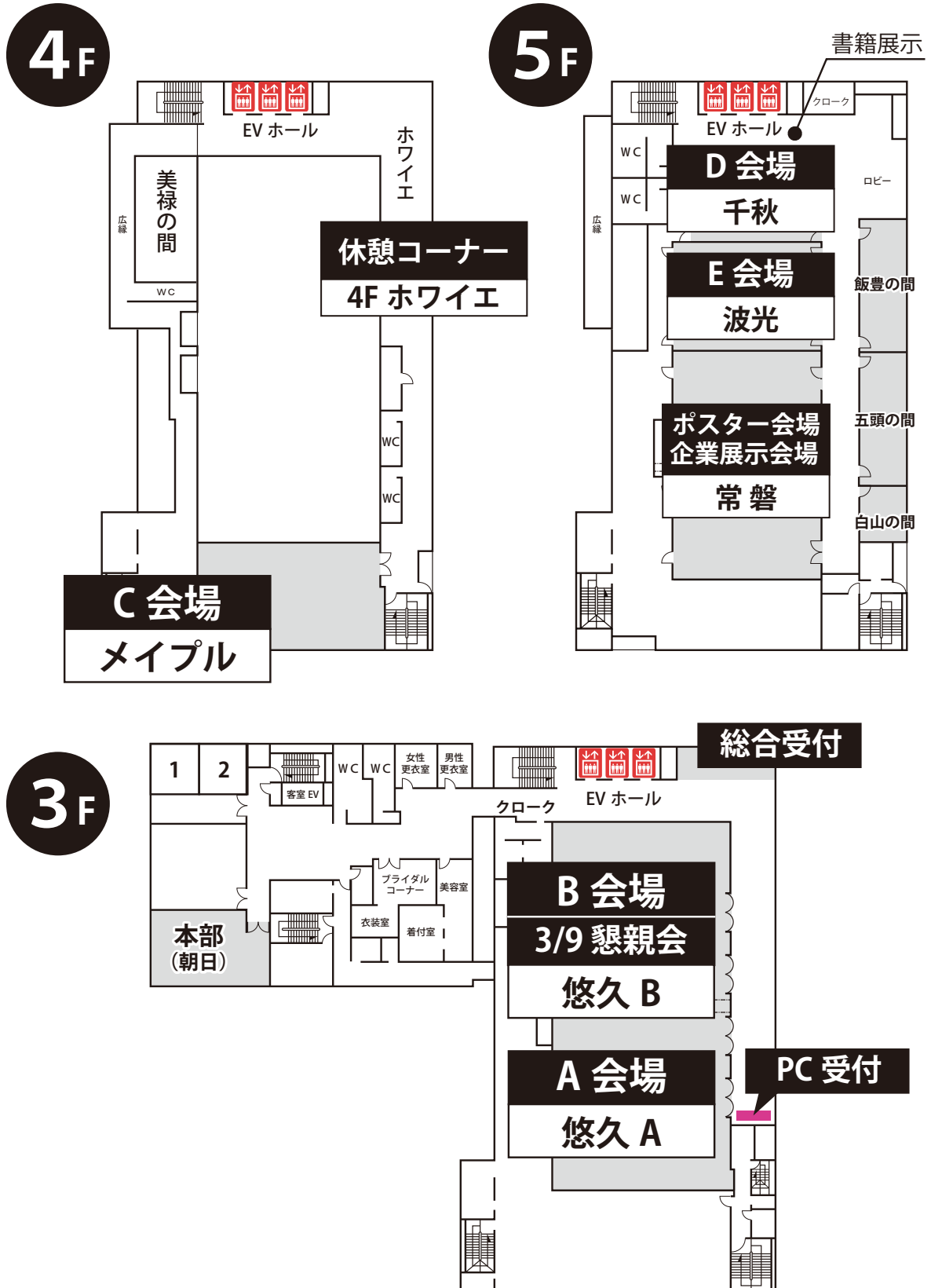
【会場】新潟グランドホテル

〒951-8052 新潟市中央区下大川前3ノ町2230番地

HP : <https://www.ni-grand.co.jp/access/>



会場案内図



学術大会参加の方へ

■参加者へのご案内とお願い

1. 参加登録について

参加登録は「オンライン参加登録」のみとなります。

お手持ちのPC, スマートフォンよりオンラインでのお申込み・決済をお願いいたします。

※現地参加の方のお支払は、クレジットカード決済のみとなっております。

(ご利用可能カード：VISA, Master Card, JCB, AMEX, Diners, Apple Pay)

当日も受付(オンライン)を行っておりますが、可能な限り学術大会ウェブサイトより事前参加登録をお済ませください。(現金決済は行えません。)

右記QRコードまたは以下のURLよりアクセスしてください。

<https://shinsen-mc.co.jp/jsdmcp33/registration.html>



2. 参加受付

1) 受付時間・場所

日 時：3月9日(土) 8:00～16:00

3月10日(日) 8:00～15:00

場 所：新潟グランドホテル 3F ロビー

2) 参加受付期間

・現地参加(オンデマンド視聴も可)：～3月10日(日) 14:00

・オンデマンド視聴のみ：4月30日(火) 12:00

※事前参加登録期間と通常参加登録期間では一部金額が異なります。

※オンデマンド配信では一部のプログラムのみ配信いたします。予めご了承ください。

(配信プログラムについては、ホームページをご確認ください。)

3) 参加費

区 分	事前参加登録	通常参加登録
	2024年2月22日(木) 正午まで	2024年2月22日(木) 正午以降～ オンデマンド視聴のみ最終4月30日(火) 正午
歯科医師・医師(会 員)	13,000 円	15,000 円
歯科医師・医師(非会員)	15,000 円	15,000 円
医療従事者(会 員)	6,000 円	8,000 円
医療従事者(非会員)	7,000 円	9,000 円
学部学生(大学院生は除く) 名誉会員	無 料	

※参加費の消費税取り扱いについて：会員／不課税，非会員／課税(税込)となります。

※学部学生（大学院生は除く）の方は，学術教育研修会，日本歯科専門医機構認定共通研修については現地開催に限り無料で聴講いただけます。学生証など在学を証明できるものを受付で提示ください。

【学術教育研修会】 ◎詳細は 9 番をご確認ください。

事前登録参加費：3,000 円

【日本歯科専門医機構認定共通研修】 ◎詳細は 10 番をご確認ください。

事前登録参加費：1,000 円

<事前参加登録をされた方>

参加当日は，参加登録完了メールに記載された QR コードをご持参ください。

QR コードを参加者受付の自動発券機へかざすと，ネームカードが発行されます。

■ QR コードは下記のいずれかの方法でご持参ください。

- ・参加登録完了メールに記載された QR コードを表示する。
- ・予め参加登録マイページにログインして，QR コードのスクリーンキャプチャーを保存する。
- ・予め参加登録マイページにログインして，QR コードを印刷する。参加当日は印刷した用紙を持参する。

<当日登録をされる方>

PC・スマートフォンなどでご登録いただき，クレジットカード決済後に配信される決済完了メールを参加受付にてご提示ください。

※参加証のない方の入場はお断りいたします。

※参加証（ネームカード）の再発行は一切行いませんので，会期中は紛失などに注意し，大切にご使用くださいますようお願い申し上げます。

4) 領収書について

お支払い完了後に送信されます「参加登録お申込み控え」メールよりマイページにログインの上，ダウンロードいただけます。

デジタル版のみの発行となります。紙媒体での発行や郵送はございませんのでご了承ください。期間内に，必ずご自身で発行いただきますよう，お願い申し上げます。

3. プログラム集

参加登録時に現地参加を選択いただいた方には，会場でプログラム冊子をお渡しさせていただきます。

抄録は PDF データを学術大会ホームページおよびオンデマンド視聴サイト内に公開いたします。

4. 会員懇親会について

同日に大型イベント（にいがた酒の陣）が開催されるため、例年新潟市内の飲食店は非常に混雑しております。当懇親会では、皆様に食べて飲んで楽しんでいただけるように、複数の新潟米（コシヒカリ等）食べ比べ、第33回学術大会にちなみ、大会長厳選の地酒33銘柄（入手困難な銘酒あり?）をご用意しておりますので、ぜひ奮ってご参加ください。

日 時：2024年3月9日（土）17：30～19：00（予定）

会 場：新潟グランドホテル 3F 悠久B

参加費：3,000円（不課税）

定 員：150名

※参加希望の方は、なるべく事前申し込みをお願いいたします。

※当日申し込みも受け付けますが、人数に限りがございますので定員に達した場合は締め切らせていただきます。当日申し込みの場合は、参加登録受付にて手続きをお願いいたします。

※事前に申込みされている方は、参加証に参加券が付いていますので、参加証から切り離していただき、会場前の受付でご提出ください。

5. ランチョンセミナー

ランチョンセミナーはフードロス削減のため事前申込を行います。

ご希望の方は、学術大会の参加登録をお済ませの上、お申込ください。

整理券はネームカードと一緒に発行されますので、キリトリ線で切り離してください。（セミナー会場前で回収いたします。）

整理券はセミナー開始5分後無効となりますのでご注意ください。

当日も整理券を配布いたしますが、数には限りがございますので、予めご了承ください。

また、整理券をお持ちでない場合も、当日空席があれば聴講は可能ですが、お弁当の数には限りがございますので、予めご了承ください。

6. クローク

日 時：3月9日（土）8：00～学術大会終了まで

3月10日（日）8：00～学術大会終了まで

場 所：新潟グランドホテル 3F・5F ロビー

※開設時間内に荷物のお引き取りをお願いいたします。

傘、金銭、貴重品、精密機器等のお預かりはできませんので、予めご了承ください。

7. Wi-Fiのご案内

新潟グランドホテルの無料Wi-Fiをご利用いただけます。

8. その他

託児所の準備はございません。

会場内では、携帯電話をマナーモードに設定ください。

会長の許可の無い掲示・展示・印刷物の配布・録音・写真撮影・ビデオ撮影はお断りしております。

9. 学術教育研修会について【現地・オンデマンド】

◎対象プログラム：3月9日（土）15：40～17：10「学術教育研修会」

- 1) 現地参加，オンデマンド参加ともにオンデマンド配信期間終了後に一般社団法人日本有病者歯科医療学会よりメールにて修了証をお送りいたします。
- 2) 現地参加の方で事前に申込みされている方は，参加証に受講券が付いていますので，参加証から切り離して，終了後，必ずご提出ください。
- 3) オンデマンド受講では，講演動画終了後，小テストへの解答が必須です。
- 4) 「聴講のみ」であれば，学術教育研修会 3,000 円をお支払いいただく必要はございません。
しかし，その場合は「修了証」の発行は無しとなりますので，「修了証」の発行が必要な場合は，学術大会の参加費とは別に 3,000 円のお支払いが必要となります。

10. 日本歯科専門医機構認定共通研修について【現地・オンデマンド】

◎対象プログラム：3月9日（土）11：00～12：00「特別講演」

研修項目：「②患者・医療者関係の構築」

- 1) 現地参加の方は原則 60 分の聴講をお願いいたします。（途中退室不可）
事前に申込みされている方は，参加証に受講券が付いていますので，参加証から切り離して，終了後，必ずご提出ください。
受講券と引き換えに修了証をお渡しいたします。
※途中入室での聴講は可能ですが，修了証は後日のオンデマンド受講をもちましての発行となりますので，予めご了承ください。
- 2) 一般演題と並列での開催のため，現地参加の方で 60 分の聴講が出来ない場合は，後日のオンデマンドで必ず 60 分での受講を行ってください。
- 3) オンデマンド受講では，講演動画終了後，小テストへの解答が必須です。
小テスト解答後，修了証が発行されますので，ダウンロードし保存ください。
- 4) 「聴講のみ」であれば，日本歯科専門医機構認定共通研修 1,000 円をお支払いいただく必要はございません。しかし，その場合は「修了証」の発行は無しとなりますので，「修了証」の発行が必要な場合は，学術大会の参加費とは別に 1,000 円のお支払いが必要となります。

11. 日本歯科医師会生涯研修の単位について【現地・オンデマンド】

◎対象プログラム：3月9日（土）9：45～10：45「教育講演 1」

3月10日（日）9：00～10：00「基調講演」

3月10日（日）13：30～14：30「教育講演 2」

- 1) 現地にて研修単位取得をご希望の方は，日歯生涯研修 IC カードを忘れずにご持参の上，3F の総合受付に設置している専用 PC にて，各講演前に日歯生涯研修 IC カードをかざして単位登録を行ってください。
- 2) オンデマンド参加の方は，講演動画終了後，入力画面に遷移しますので，日本歯科医師会会員 ID（赤字枠内の 6 桁の数字）を入力してください。



12. ICD 講習会について【現地・ライブ】

日 時：3月10日（日）14：00～15：30

会 場：C会場（4Fメイプル）

<現地・ライブ共通事項>

学術大会参加者（参加費完納）でも、ICD講習会の参加には協議会ホームページより参加申込および受講料のお支払いが必要です。

※ICD講習会のみに参加の場合は学術大会の参加登録の必要はありません。

<現地参加の方>

- ・現地参加者は、協議会事務局より発送される「講習会参加証」を当日必ずご持参ください。参加印を受けて受付完了となります。
- ・退席時の出席確認票提出をもって単位付与となります。未提出、代理提出、複数枚提出の場合は欠席とみなされます。

<ライブ参加の方>

※会期の約10日前に、協議会事務局より参加者の皆様へメールにて受講方法をご案内いたしますので、詳細はそちらのメールをご確認ください。

- ・視聴にあたりWEB会議ツール「Zoom ウェビナー」をご準備ください。事前にZoomアプリをダウンロード、インストールし、最新にアップデートしてください。
- ・開始30分前から入室可能ですので、開始5分前までに必ずご入室をお願いいたします。
- ・Zoomに入室後は、講演終了まで退室されないようお願い申し上げます。入室から退室までを視聴時間として記録させていただきます。

13. 優秀発表賞

一般演題（口演、ポスター）の中から優秀発表賞を選考の上、表彰いたします。

会期中の選考のため、会期中の表彰は行いません。

受賞者は会期後、学術大会ホームページにてお知らせいたします。

14. 認定歯科衛生士委員会・医療連携委員会共同企画

認定歯科衛生士のための口腔咽頭吸引ハンズオンセミナー

日 時：3月10日（日）9：30～11：30

会 場：E会場（5F波光）

※申込みは終了しております。

<参加者の方へ>

9：20に開場します。実習の班分けは学会にて事前に決めさせていただきますのでご了承ください。簡易エプロンとディスポーザブルグローブは当方で用意しますが、模擬唾液を用いますので、服装に留意してください。

15. 口腔外科 ECC トレーニングサイト AHA-BLS コース

日 時：3月10日（日）8：30～16：00

会 場：D会場（5F千秋）

※申込みは終了しております。

座長・演者へのご案内

■座長の先生方へのお願い

口演の座長は担当セッション開始 10 分前までに次座長席へお越してください。

所定の時間内に終わるように定時進行にご協力をお願いいたします。

ポスターの座長は担当セッション開始 10 分前までに、ポスター会場内の座長受付までお越してください。

■口演者の皆様へ

1. 発表者の資格について

- ・発表者ならびに共同演者は会員であることが条件となっておりますので、未入会の方は入会手続きを必ず行ってください。

【入会のお申し込みはこちら（日本有病者歯科医療学会）】 <https://www.jjmcp.jp/membership/>

- ・発表者は大会の参加登録が必要です。

2. 作成スライド作成基準について

- ・会場には Windows 11 の PC をご用意しており、スライドの画面サイズは 16:9 を推奨いたします。4:3 のスライドも投影は可能です。
- ・「発表者ツール」は使用できません。スムーズな進行にご協力ください。発表原稿が必要な方は、あらかじめプリントアウトをお持ちください。

3. 発表用データについて

- ・PC データ受付は、3F ロビーにございますので、発表予定時間の 30 分前までに「PC データ受付」にて試写用パソコンで発表データの確認を行ってください。
(データのお持込みは、発表日以外でも受け付けます。)

< PC データ受付 >

3月9日（土）8:00～16:00

3月10日（日）8:00～15:00

- ・コピーしたデータは「PC 受付」のサーバと会場のパソコンにご発表データを一時保存いたしますが、データは会期終了後、事務局にてすべて消去いたします。
- ・オンデマンド配信する一部プログラムは、会場で収録させていただきますので、オンデマンド配信用のデータの提出は不要です。

4. ノートパソコンを持ち込まれる方へ

- ・原則としてはデータ持込みとして、PC 本体のお持込みは動画投影に不安がある方など必要最低限にさせていただきますようご協力をお願いいたします。

- ・会場のプロジェクターへは HDMI 端子での接続となります。
※Macintosh や一部の Windows パソコンでは変換コネクタが必要となりますので、必ずご持参ください。
- ※D-sub15 ピン（ミニ）や Mini Display Port, USB-Type-C など HDMI 以外の接続はお受けできません。
- ・電源ケーブルは必ずご持参ください。
バッテリーのみでの駆動はトラブルの原因となる可能性がございます。
- ・原則ご自身の PC は演台上にはあげられません。会場内のオペレーションデスクに預けていただき、ご発表は演台に設置されているモニター、マウス等をご使用ください。

5. 利益相反（COI）の有無について

口演発表をされる方は、発表スライドに利益相反状態を表示する必要があります。

学術大会の当日発表の際に発表者はタイトルスライドの次に以下 PDF をダウンロードしたものを貼付けて作成ください。

【利益相反に該当しない場合】

<p>申告すべき利益相反（COI）状態がない場合</p> <p>第 33 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会</p> <p>利益相反（COI）開示</p> <p>2024 年 月 日</p> <p>演題発表に関連し、開示すべき利益相反（COI）関係にある企業などはありません。</p> <p>筆頭発表者名：○○ ○○</p>

【利益相反に該当する場合】

<p>申告すべき利益相反（COI）状態がある場合</p> <p>第 33 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会</p> <p>利益相反（COI）開示</p> <p>2024 年 月 日</p>
<p>演題発表に関連し、開示すべき利益相反は以下の通りです。</p> <p>①報酬額： ②株式などによる利益： ③講演料： ④原稿料 ⑤研究費・助成金： ⑥奨学寄附金： ⑦企業などが提供する寄付額： ⑧旅費・贈答品などの報酬： ↑ 開示すべき内容がある項目のみ記載</p>
<p>筆頭発表者名：○○ ○○</p>

6. 発表時間などについて

- ・一般口演の発表時間は、発表 6 分、質疑応答 2 分です。
- ・発表の 10 分前までに発表会場にお越しください。1 枚目のスライドのみ投影いたしますので、発表データの操作はご本人で行っていただきます。
- ・演台上に計時ランプがございます。発表終了 1 分前に黄色ランプ、終了・超過と共に赤色ランプを点灯し、残り時間をお知らせします。
- ・スライドの枚数には制限はありませんが、制限時間内に終了するようにしてください。
- ・質疑応答については、座長の指示に従ってください。

■ポスター発表について

1. 発表者の資格について

- ・発表者ならびに共同演者は会員であることが条件となっておりますので、未入会の方は入会手続きを必ず行ってください。

【入会のお申し込みはこちら（日本有病者歯科医療学会）】 <https://www.jjmcp.jp/membership/>

- ・発表者は大会の参加登録が必要です。

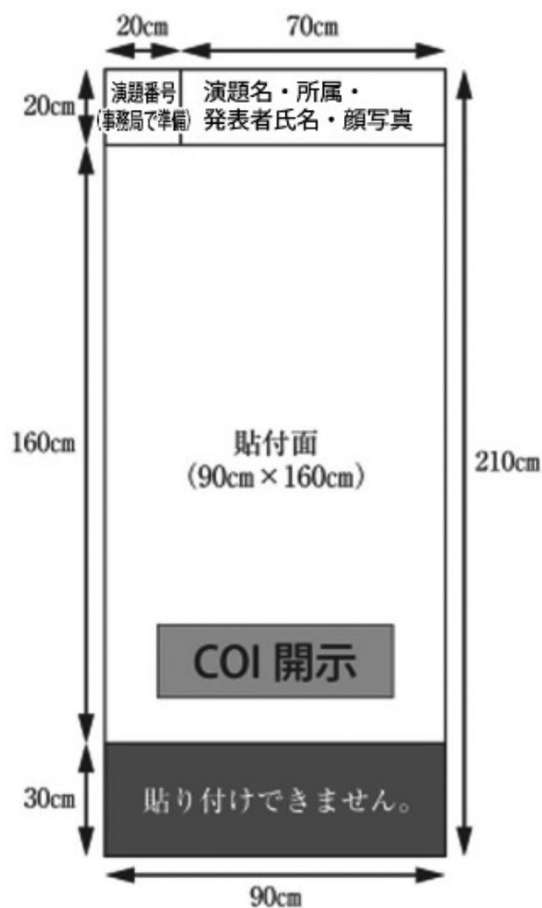
2. ポスター貼付・発表・撤去について

- ・ポスターの発表時間は、発表3分、質疑応答2分です。
- ・該当するポスター発表時間内にはポスター前にお立ちいただき、座長の進行に従ってください。
- ・ポスターの貼付・撤去は必ず指定された時間内に行ってください。
- ・貼付の遅れ、撤去の前倒し、ポスターの放置はご遠慮ください。
- ・撤去時間終了時（3月10日（日）15：00以降）に残されているポスターに関しては、事務局にて破棄します。あらかじめご了承ください。

貼 付	3月9日（土）9：00～10：00 ※2日目（3/10）に発表の方は上記の時間内でなくとも問題ありませんが、出来る限り1日目の早い時間に貼付を行ってください。
自由閲覧	3月9日（土）10：00～14：20 3月10日（日）10：20～13：00
発 表	<p>3月9日（土）</p> <p>14：20～14：50 ポスター1（P1-1～P1-6） 14：20～14：50 ポスター2（P2-1～P2-6） 14：20～14：40 ポスター3（P3-1～P3-4） 14：50～15：20 ポスター4（P4-1～P4-6） 14：50～15：20 ポスター5（P5-1～P5-6）</p> <hr/> <p>3月10日（日）</p> <p>9：15～9：40 ポスター6（P6-1～P6-5） 9：15～9：40 ポスター7（P7-1～P7-5） 9：15～9：45 ポスター8（P8-1～P8-6） 9：50～10：20 ポスター9（P9-1～P9-6） 9：50～10：20 ポスター10（P10-1～P10-6）</p>
撤 去	3月10日（日）14：00～15：00 掲示したポスターは、必ずご自身でお持ち帰りください。 撤去時間が過ぎても会場に残っている場合は、運営事務局にて処分いたしますのでご了承ください。 (1日目（3/9）に発表が終了した方でお持ち帰りになる場合は、9日の15：20以降に撤去をお願いします。運営事務局にて処分して良い場合はそのまま貼付した状態をお願いします。)

3. ポスター作成要領

- ・発表ポスターは縦 160cm × 横 90cm 以内のスペースに収まるサイズで作成してください。
- ・ポスター上部の右側に縦 20cm × 横 20cm サイズで「発表者の顔写真」を貼付し、演題番号と顔写真の中央スペースに「演題名、発表者名（筆頭演者に○）、所属施設名」を貼付してください。
- ・利益相反（COI）の有無を必ず記載してください。
- ・パネル左上の演題番号（縦 20cm × 横 20cm）は事務局にてご用意いたします。
- ・ポスター貼付用のピンは会場内に用意しております。（両面テープでは掲示できません。）



■事後抄録について

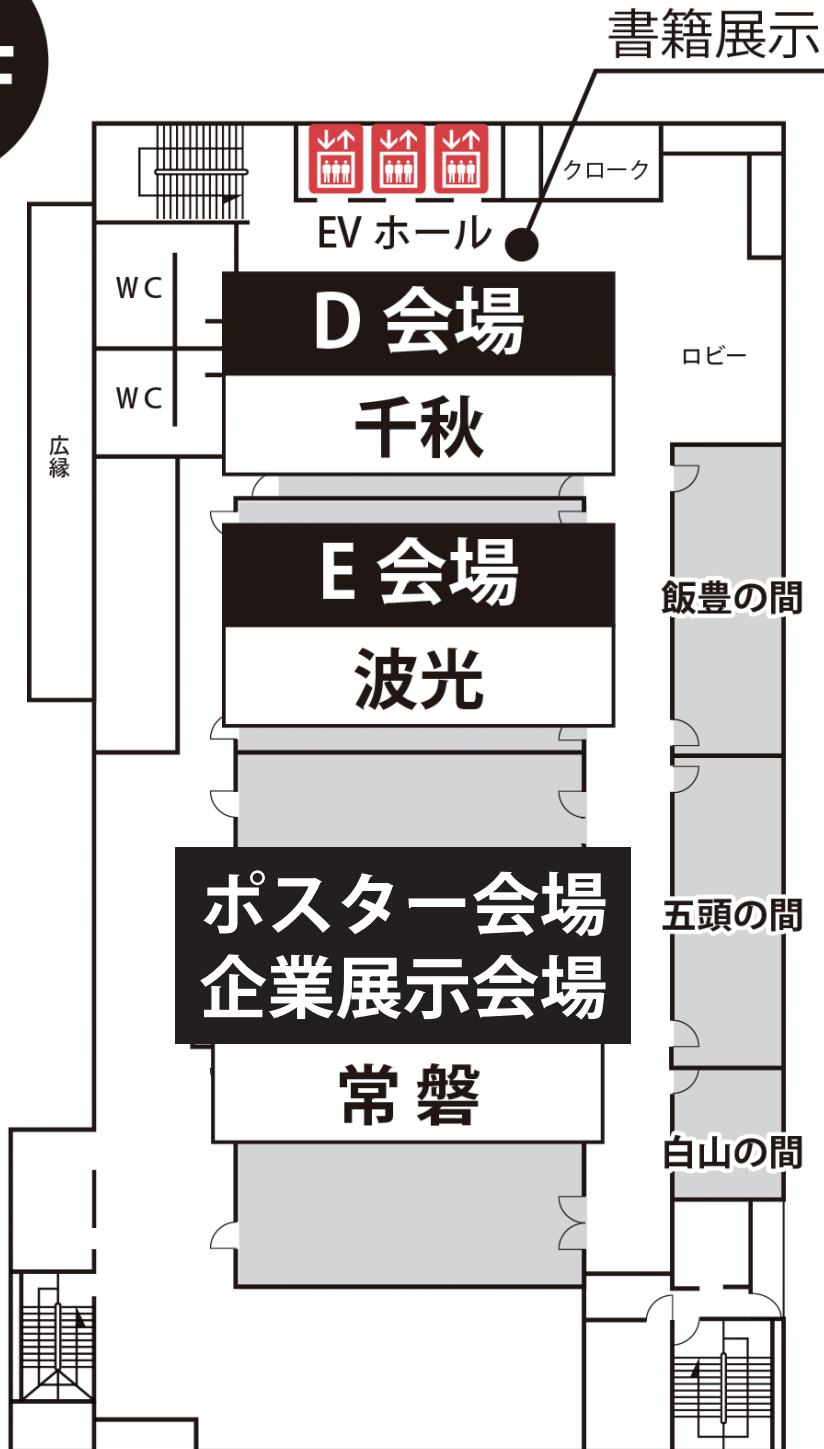
事後抄録は、会期後の提出となります。

演題番号・演題名・発表者名・発表者全員の所属機関・連絡先をメール本文にて明記してください。本文は、Microsoft Word 形式、20 字 × 20 行、800 文字以内にまとめてください。

会期後 1 週間以内に、日本有病者歯科医療学会：yubyousha@jjmcp.jp まで添付にてお送りください。メールの件名は、【演題番号_事後抄録提出】としてください。

ポスター会場

5F



学会日程表／1日目 3月9日(土)

	A会場 (3F 悠久A)	B会場 (3F 悠久B)	C会場 (4F メイプル)
9:00	8:55~9:00 開会の辞 9:00~9:40 日本有病者歯科医療学会理事長講演 「歯科は口中科より生じ、口腔科医になる」 座長：田中 彰 演者：坂下英明		
10:00	9:45~10:45 教育講演 1 「抗血栓療法患者の抜歯に関するガイドライン 2025年度版改定作業について」 座長：栗田 浩 演者：岩淵博史	9:45~10:35 一般口演 1 「医療連携・地域包括ケアと歯科」 座長：石井良昌	9:45~10:25 一般口演 7 「血液疾患①」 座長：宮田 勝
11:00	11:00~12:00 特別講演 (日本歯科専門医機構認定共通研修) 「しなやかな人間関係を作る方法：対人認知, 自己認知, メタ認知の心理学」 座長：田中 彰 演者：碓井真史	10:40~11:15 一般口演 2 「臨床統計①」 座長：濱田良樹	10:30~11:10 一般口演 8 「基礎疾患と患者管理」 座長：矢郷 香
12:00		11:20~12:00 一般口演 3 「抗血栓療法と観血的処置」 座長：里見貴史	11:15~11:55 一般口演 9 「良性腫瘍・嚢胞」 座長：栗田 浩
13:00	12:10~13:10 ランチョンセミナー 1 「HAEのトータルマネジメントにおける短期予防の意義」 座長：大橋 誠 演者 1：本田大介 演者 2：松山真樹子 共催：CSL ベーリング株式会社	12:10~13:10 ランチョンセミナー 2 「頭頸部放射線治療の口腔管理—適切に行うための基本から最新の知見まで—」 座長：佐久間要 演者：勝良剛詞 共催：株式会社大塚製薬工場	
14:00	13:20~15:20 シンポジウム 1 「総合歯科専門医 (仮称) に向けて 関連学会を知る」 座長：砂田勝久・石垣佳希 シンポジスト： 1. 水口俊介 「総合歯科専門医 (仮称) に向けて —老年歯科における対応と役割—」 2. 小笠原 正 「総合歯科専門医 (仮称) に向けて —障害者歯科の立場から—」 3. 石垣佳希 「総合歯科専門医 (仮称) に向けて —有病者歯科における対応と役割—」	13:20~14:00 一般口演 4 「薬剤関連顎骨壊死」 座長：富原 圭	13:20~14:00 一般口演 10 「口腔粘膜疾患①」 座長：小川 隆
15:00		14:05~14:45 一般口演 5 「有病者口腔ケア」 座長：佐野次夫	14:05~14:45 一般口演 11 「先天異常・顎変形症」 座長：近津大地
16:00	15:40~17:10 学術教育研修会 「口腔に生じる自己免疫疾患とアレルギー疾患」 座長：西條英人 演者：阿部理一郎	14:50~15:30 一般口演 6 「臨床統計②」 座長：里村一人	14:50~15:30 一般口演 12 「高齢者」 座長：竹川政範
17:00			
18:00		17:30~19:30 会員懇親会	

D会場 (5F 千秋)	E会場 (5F 波光)	ポスター会場 (5F 常磐)	
			9:00
		9:00~10:00 ポスター貼り付け	
	9:45~10:25 一般口演 16 「炎症・感染症①」 座長：小笠原健文	ポスター閲覧	10:00
	10:30~11:20 一般口演 17 「悪性腫瘍」 座長：戸谷収二		11:00
	11:25~12:05 一般口演 18 「周術期管理・麻酔管理」 座長：砂田勝久		12:00
			13:00
13:20~14:00 一般口演 13 「周術期管理・麻酔管理」 座長：森本佳成			14:00
	13:50~14:40 一般口演 19 「周術期口腔管理」 座長：岩渕博史		
14:05~14:40 一般口演 14 「歯科衛生士セッション①」 座長：吉武博美		14:20~15:20 ポスター発表	15:00
14:45~15:20 一般口演 15 「歯科衛生士セッション②」 座長：金子忠良	14:45~15:25 一般口演 20 「血液疾患②」 座長：林 勝彦		
		<ul style="list-style-type: none"> ● P1 P1-1~P1-6 発表時間：14:20~14:50 (30分) ● P2 P2-1~P2-6 発表時間：14:20~14:50 (30分) ● P3 P3-1~P3-4 発表時間：14:20~14:40 (20分) ● P4 P4-1~P4-6 発表時間：14:50~15:20 (30分) ● P5 P5-1~P5-6 発表時間：14:50~15:20 (30分) 	16:00
			17:00
			18:00

学会日程表／ 2日目 3月10日(日)

	A会場 (3F 悠久A)	B会場 (3F 悠久B)	C会場 (4F メイプル)
9:00	9:00～10:00 基調講演 「新潟県に部長として赴任して～医師数最低県が目指す医師確保策～そして医療再編」 座長：松崎正樹 演者：松本晴樹	9:15～9:50 一般口演 21 「病院歯科の現状・課題」 座長：山内智博	9:15～9:55 一般口演 25 「口腔粘膜疾患②」 座長：鶴澤一弘
10:00	10:10～12:10 シンポジウム 2 「地域医療構想と地域歯科医療の新展開地域における病診、診診連携の未来」 座長：田中 彰, 宮田 勝 シンポジスト： 1. 遠藤直人 「新潟県・県央医療圏における医療再編と歯科診療」 2. 木戸寿明 「新潟県における在宅歯科医療連携室整備事業の現状と今後」 3. 立浪康晴 「これからの歯科医療提供体制の新機軸として期待される「地域支援型多機能歯科診療所」構想」 4. 寺中 智 「地域基幹病院としての歯科の役割」	9:55～10:35 一般口演 22 「基礎疾患と患者管理」 座長：内田大亮	10:00～10:35 一般口演 26 「その他」 座長：西條英人
11:00		10:40～11:20 一般口演 23 「炎症・感染症②」 座長：小林 恒	10:40～11:20 一般口演 27 「基礎疾患と患者管理」 座長：河合貴久
12:00		11:25～12:05 一般口演 24 「基礎疾患と患者管理」 座長：山口秀紀	11:25～12:00 一般口演 28 「炎症・感染症③」 座長：川又 均
13:00	12:20～13:20 ランチョンセミナー 3 「Candida albicans の特性と基礎研究から見てきたヒノキチオール抗菌作用」 座長：田中 彰 演者：福井佳代子 共催：イーエヌ大塚製薬株式会社／株式会社大塚製薬工場	12:20～13:20 ランチョンセミナー 4 「細菌学的歯周病病因論と局所型抗生物質製剤の有用性について」 演者：山崎和久 共催：サンスター株式会社	
14:00	13:30～14:30 教育講演 2 「骨卒中を学ぶ」 座長：林 勝彦 演者：今井教雄	13:30～15:30 歯科衛生士セッション：シンポジウム 「多職種で挑む口腔健康管理」 座長：金子忠良, 山口秀紀 シンポジスト： 1. 越田美和 「某高度急性期病院における口腔衛生管理と多職種連携の現状」 2. 宇佐美康子 「栄養と嚥下に関わる口腔健康管理―「食べられる口」に問題はないか？を意識したアセスメントをめざして―」 3. 佐久間優子 「透析専門病院における多職種連携と口腔健康管理」 4. 近藤さつき 「栄養指導における多職種との協働―歯科医師と歯科衛生士と同行―」 5. 堂井真理 「多職種で挑む口腔健康管理 言語聴覚士の立場から」	14:00～15:30 ICD 講習会 座長：石井良昌 演者 1：「ウイルス性肝炎の Up To Date」 大越章吾 演者 2：「院内感染対策 針刺し事故対策とダブルグロービング」 戸谷収二
15:00	14:40～15:30 緊急セッション 「能登半島地震における歯科保健支援活動の特徴」 座長：宮田 勝 演者：中久木康一		
15:30～15:45	閉会式		
16:00			
17:00			
18:00			

D会場 (5F 千秋)	E会場 (5F 波光)	ポスター会場 (5F 常磐)	
8:30~16:00 口腔外科 ECC トレーニングサイト AHA-BLS コース			9:00
	9:30~11:30 認定歯科衛生士委員会・ 医療連携委員会共同企画 認定歯科衛生士のための口腔咽頭吸引 ハンズオンセミナー ～安全な吸引操作と呼吸を学ぶ～	9:15~10:20 ポスター発表	10:00
		ポスター閲覧	11:00
			12:00
			13:00
			14:00
			15:00
		ポスター撤去	16:00
			17:00
			18:00

- P6 P6-1~P6-5
発表時間：9:15~9:40 (25分)
- P7 P7-1~P7-5
発表時間：9:15~9:40 (25分)
- P8 P8-1~P8-6
発表時間：9:15~9:45 (30分)
- P9 P9-1~P9-6
発表時間：9:50~10:20 (30分)
- P10 P10-1~P10-6
発表時間：9:50~10:20 (30分)

日本有病者歯科医療学会総会・学術大会 開催記録

回	年 月	開催地	担当校・病院	会 長
第1回	1992年2月	東 京	町田市民病院	白川正順
第2回	1993年3月	東 京	東京医科大学	内田安信
第3回	1994年2月	大 阪	大阪歯科大学	上田 裕
第4回	1995年3月	横 浜	鶴見大学	瀬戸皖一
第5回	1996年3月	山 形	山形大学	吉澤信夫
第6回	1997年3月	東 京	三井記念病院	寶田 博
第7回	1998年3月	松 本	松本歯科大学	千野武廣
第8回	1999年3月	宇都宮	自治医科大学	赤坂庸子
第9回	2000年4月	熊 本	伊東歯科医院	伊東隆利
第10回	2001年2月	横 浜	鶴見大学	雨宮義弘
第11回	2002年2月	鹿児島	鹿児島市立病院	増田敏雄
第12回	2003年3月	東 京	東京慈恵会医科大学	田邊晴康
第13回	2004年4月	川 越	明海大学	坂下英明
第14回	2005年3月	名古屋	鈴木歯科医院	鈴木俊夫
第15回	2006年3月	岡 崎	岡崎市民病院	山田祐敬
第16回	2007年3月	東 京	東京女子医科大学	扇内秀樹
第17回	2008年4月	新 潟	日本歯科大学新潟病院	佐野公人
第18回	2009年4月	松 本	信州大学	倉科憲治
第19回	2010年4月	神 戸	神戸市立医療センター 中央市民病院	田中義弘
第20回	2011年6月	東 京	東京歯科大学	山根源之
第21回	2012年3月	宇都宮	獨協医科大学	今井 裕
第22回	2013年3月	東 京	日本歯科大学	白川正順
第23回	2014年3月	福 岡	福岡大学	喜久田利弘
第24回	2015年3月	旭 川	旭川医科大学	松田光悦
第25回	2016年3月	松 戸	日本大学松戸歯学部	渋谷 鑛
第26回	2017年3月	金 沢	石川県立中央病院	宮田 勝
第27回	2018年3月	東 京	日本大学歯学部	大木秀郎
第28回	2019年3月	千 葉	千葉大学	丹沢秀樹
第29回	2020年3月	神 戸	神戸常盤大学・神戸 常盤大学短期大学部	足立了平
第30回	2021年2月	東 京	町田市民病院	小笠原健文
第31回	2022年4月	沖 縄	日本歯科大学	砂田勝久
第32回	2023年3月	長 野	信州大学	栗田 浩
第33回	2024年3月	新 潟	日本歯科大学新潟生命歯学部	田中 彰
第34回	2025年3月	東 京	日本大学松戸歯学部	山口秀紀

プログラム

第33回（一社）日本有病者歯科医療学会総会・学術大会 プログラム

3月8日（金）【5F 常磐】

16：10～16：50

日本歯科専門医機構理事長講演

座長：田中 彰（日本歯科大学新潟生命歯学部口腔外科学講座）

（一社）日本歯科専門医機構とは何か？— 新たなる歯科専門医の制度設計に挑む —

一般社団法人日本歯科専門医機構理事長 / 獨協医科大学名誉教授

今井 裕

16：50～17：30

日本歯科医学会会長講演

座長：田中 彰（日本歯科大学新潟生命歯学部口腔外科学講座）

改めて日本歯科医学会と（一社）日本歯科医学会連合の活動を知ろう

— 6期目の着実な歩み—

日本歯科医学会会長

住友 雅人

3月9日（土）【A会場（3F 悠久A）】

9：00～9：40

日本有病者歯科医療学会 理事長講演

座長：田中 彰（日本歯科大学新潟生命歯学部口腔外科学講座）

歯科は口中科より生じ、口腔科医になる

一般社団法人日本有病者歯科医療学会理事長

坂下 英明

9：45～10：45

教育講演1

座長：栗田 浩（信州大学医学部歯科口腔外科）

抗血栓療法患者の抜歯に関するガイドライン 2025 年度版改定作業について

国際医療福祉大学病院歯科口腔外科

岩渕 博史

11:00～12:00

特別講演（日本歯科専門医機構認定共通研修）

座長：田中 彰（日本歯科大学新潟生命歯学部口腔外科学講座）

しなやかな人間関係を作る方法：対人認知，自己認知，メタ認知の心理学

新潟青陵大学大学院文学研究科

碓井 真史

12:10～13:10

ランチョンセミナー1 共催：CSL ベーリング株式会社

HAEのトータルマネージメントにおける短期予防の意義

座長：大橋 誠（日本歯科大学新潟生命歯学部歯科麻酔学講座）

1. 歯科治療後に致死性発作をもたらす「遺伝性血管性浮腫」

～トータルマネージメントにおける短期予防の意義～

千葉大学医学部附属病院腎臓内科

本田 大介

2. HAE患者が歯科治療にあたって考えること

NPO法人HAEJ

松山真樹子

13:20～15:20

シンポジウム1

総合歯科専門医（仮称）に向けて 関連学会を知る

座長：砂田 勝久（日本歯科大学生命歯学部歯科麻酔学）

石垣 佳希（日本歯科大学附属病院総合診療科）

1. 総合歯科専門医（仮称）に向けて—老年歯科における対応と役割—

一般社団法人日本老年歯科医学会理事長

水口 俊介

2. 総合歯科専門医（仮称）に向けて～障害者歯科の立場から～

公益社団法人日本障害者歯科学会前理事長

専門医委員会委員長 / よこすな歯科クリニック

小笠原 正

3. 総合歯科専門医（仮称）に向けて—有病者歯科における対応と役割—

一般社団法人日本有病者歯科医療学会副理事長

日本歯科大学附属病院総合診療科

石垣 佳希

15:40～17:10

学術教育研修会

座長：西條 英人（東京大学大学院医学系研究科外科学専攻感覚・運動機能医学講座

口腔顎顔面外科学）

口腔に生じる自己免疫疾患とアレルギー疾患

新潟大学大学院医歯学総合研究科皮膚科学分野

阿部理一郎

3月9日(土)【B会場(3F 悠久B)】

12:10～13:10

ランチョンセミナー2 共催：株式会社大塚製薬工場

座長：佐久間 要（日本歯科大学新潟生命歯学部口腔外科学講座）

頭頸部放射線治療の口腔管理—適切に行うための基本から最新の知見まで—

新潟大学医歯学総合病院歯科放射線科

勝良 剛詞

3月10日(日)【A会場(3F 悠久A)】

9:00～10:00

基調講演

座長：松崎 正樹（新潟県歯科医師会会長）

新潟県に部長として赴任して～医師数最低県が目指す医師確保策～そして医療再編

前新潟県福祉保健部長 / 厚生労働省医系技官

松本 晴樹

10:10～12:10

シンポジウム2

地域医療構想と地域歯科医療の新展開

地域における病診、診診連携の未来

座長：田中 彰（日本歯科大学新潟生命歯学部口腔外科学講座）

宮田 勝（石川県立中央病院歯科口腔外科）

1. 新潟県・県央医療圏における医療再編と歯科診療

済生会新潟県央基幹病院

遠藤 直人

2. 新潟県における在宅歯科医療連携室整備事業の現況と今後

一般社団法人新潟県歯科医師会

木戸 寿明

3. これからの歯科医療提供体制の新機軸として期待される

「地域支援型多機能歯科診療所」構想

医療法人社団 星陵会 たちなみ歯科口腔外科クリニック

立浪 康晴

4. 地域基幹病院としての歯科の役割

足利赤十字病院リハビリテーション科

寺中 智

12:20～13:20

ランチョンセミナー3 共催：イーエヌ大塚製薬株式会社 / 株式会社大塚製薬工場

座長：田中 彰（日本歯科大学新潟生命歯学部口腔外科学講座）

Candida albicans の特性と基礎研究から見てきたヒノキチオールの抗菌作用

日本歯科大学新潟生命歯学部薬理学講座

福井佳代子

13:30～14:30

教育講演2

座長：林 勝彦（東京慈恵会医科大学附属病院歯科口腔外科）

骨卒中を学ぶ

新潟大学大学院医歯学総合研究科健康寿命延伸・運動器疾患医学講座

今井 教雄

14:40～15:30

緊急セッション

座長：宮田 勝（石川県立中央病院歯科口腔外科）

能登半島地震における歯科保健支援活動の特徴

東北大学大学院歯学研究科世界展開力強化事業推進室／

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科救急災害医学分野

中久木康一

3月10日（日）【B会場（3F 悠久B）】

12:20～13:20

ランチョンセミナー4 共催：サンスター株式会社

細菌学的歯周病病因論と局所型抗生物質製剤の有用性について

新潟大学名誉教授

理化学研究所生命医科学研究センター粘膜システム研究チーム客員主管研究員

山崎 和久

13:30～15:30

歯科衛生士セッション：シンポジウム

多職種で挑む口腔健康管理

座長：金子 忠良（医療法人社団嬉泉会 嬉泉病院歯科口腔外科）

山口 秀紀（日本大学松戸歯学部歯科麻酔学講座）

1. 某高度急性期病院における口腔衛生管理と多職種連携の現状

石川県立中央病院歯科技術室

越田 美和

2. 栄養と嚥下に関わる口腔健康管理

—「食べられる口」に問題はないか？を意識したアセスメントをめざして—

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院

患者支援センター 地域包括ケア支援室

宇佐美康子

3. 透析専門病院における多職種連携と口腔健康管理

医療法人社団嬉泉会 嬉泉病院歯科口腔外科

佐久間優子

4. 栄養指導における多職種との協働 —歯科医師と歯科衛生士と同行—

日本歯科大学新潟病院 管理栄養士

近藤さつき

5. 多職種で挑む口腔健康管理 言語聴覚士の立場から

新成医会 総合リハビリテーションセンターみどり病院

リハビリテーション部言語聴覚療法部門

堂井 真理

3月10日(日)【C会場(4Fメイプル)】

14:00～15:30

ICD 講習会

ウイルス性肝炎の Up To Date と院内感染対策

座長：石井 良昌（座間総合病院歯科口腔外科）

1. ウイルス性肝炎の Up to Date

日本歯科大学新潟生命歯学部内科学講座

大越 章吾

2. 院内感染対策 針刺し事故対策とダブルグロービング

日本歯科大学新潟病院口腔外科

戸谷 収二

第33回（一社）日本有病者歯科医療学会総会・学術大会 一般口演 発表日時

3月9日(土)【B会場(3F 悠久B)】

9:45～10:35

一般セッション／O1 医療連携・地域包括ケアと歯科

座長：石井 良昌（座間総合病院歯科口腔外科）

- O1-1 当院における入退院支援センターを通じた周術期口腔機能管理の診療報酬からの評価
横浜市立みなと赤十字病院歯科口腔外科 向山 仁
- O1-2 南長野心疾患地域連携パスを通じたの歯科介入の試み
JA厚生連長野医療センター篠ノ井総合病院口腔外科
信州大学医学部歯科口腔外科学教室 竹内 一步
- O1-3 開業歯科医師の経皮的曝露時の対応に関する認識について
国立病院機構名古屋医療センター歯科口腔外科 宇佐美雄司
- O1-4 歯科標榜のない総合病院腎臓内科との医科歯科連携の取り組み
大淵歯科医院 大淵 泰彦
- O1-5 ITC ツールを活用した管理栄養士との医療連携
—栄養の視点を持った歯科医師からの依頼で始まる食支援—
医療法人社団まめだ会 まめだ歯科訪問ステーション
石川県栄養士会 いしかわ栄養ケア・ステーション 櫻井 千佳
- O1-6 彦根市立病院における口腔衛生管理の医科歯科連携推進システムについて
彦根市立病院歯科口腔外科 梨 正典

10:40～11:15

一般セッション／O2 臨床統計①

座長：濱田 良樹（鶴見大学歯学部口腔顎顔面外科学講座）

- O2-1 当科における過去20年間の65歳以上の埋伏智歯抜歯
公立富岡総合病院歯科口腔外科 金井 秀子
- O2-2 当院におけるがん周術期口腔機能管理の介入状況について
諏訪赤十字病院特殊歯科・口腔外科 稲吉 克仁
- O2-3 当科受診患者における有病者率の推移について
あいち小児保健医療総合センター歯科口腔外科 加納 欣徳

O2-4 ステロイド療法中に象牙質知覚過敏様疼痛が出現した 20 例についての臨床的検討
新潟大学医歯学総合病院医療連携口腔管理治療部 黒川 亮

11:20 ~ 12:00

一般セッション / O3 抗血栓療法と観血的処置

座長：里見 貴史（日本歯科大学生命歯学部口腔外科学講座）

- O3-1 咀嚼時の舌損傷による出血で緊急入院となった一例
京都府立医科大学大学院医学研究科歯科口腔科学
京都府立医科大学附属病院歯科 小野龍太郎
- O3-2 直接経口抗凝固薬服用患者の口腔外科小手術後出血に関する臨床的検討
社会福祉法人恩賜財団済生会西条病院歯科口腔外科 田中 宏史
- O3-3 抜歯後の止血に難渋し緊急気管挿管を必要とした肝硬変患者の一例
東京女子医科大学医学部歯科口腔外科学講座顎口腔外科学分野 湯浅 智乃
- O3-4 抗血栓療法患者における抜歯後出血のリスクに関する多機関共同研究
国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院歯科・口腔外科 墓田 真弥
- O3-5 著明な PT-INR 高値を認めた抗血栓療法患者への抜歯後出血処置に
苦慮した症例
あがの市民病院歯科口腔外科 久代 洋貴

13:20 ~ 14:00

一般セッション / O4 薬剤関連顎骨壊死

座長：富原 圭（新潟大学大学院医歯学総合研究科顎顔面口腔外科学分野）

- O4-1 甲状腺癌多発転移例に下顎 MRONJ を発症し、保存療法中同部に
転移性腫瘍を合併した 1 例
新潟県立新発田病院歯科口腔外科 永沼 佳納
- O4-2 デノスマブ関連顎骨壊死に対して外科療法が奏功した 3 症例
日本歯科大学生命歯学部口腔外科学講座 新井悠一郎
- O4-3 SPECT-CT と病理診断の対比による MRONJ 切除範囲の検討
東京女子医科大学附属八千代医療センター歯科口腔外科 雨宮 慶
- O4-4 自己免疫疾患患者に発生した薬剤関連顎骨壊死（MRONJ）の臨床的検討
日本歯科大学大学院新潟生命歯学研究科全身関連臨床検査学 久代 航佑
- O4-5 当科で手術を施行した上顎骨 MRONJ 患者の臨床的検討
独立行政法人国立病院機構九州医療センター歯科口腔外科
独立行政法人国立病院機構九州医療センター臨床研究センター 沼田 純

14:05 ~ 14:45

一般セッション / O5 有病者口腔ケア

座長：佐野 次夫（医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院口腔センター（歯科口腔外科））

- O5-1 当院における末期心不全緩和ケア中の患者に対する歯科的介入効果の検討
公益社団法人地域医療振興協会 石岡第一病院口腔外科 寺邊 健人
- O5-2 歯科治療恐怖症の患者に対し MDAS による恐怖感の推移を評価した
診療が有効であった症例
九州大学病院高齢者歯科・全身管理歯科 友岡 祥子
- O5-3 日常的口腔ケア時の偶発症が疑われた口底部挫創の3例
医療法人社団聖仁会白井聖仁会病院口腔外科 鈴木 円
- O5-4 抗 NMDA 受容体脳炎患者に対する口腔管理経験
福岡県済生会福岡総合病院 橋本裕美子
- O5-5 病棟看護師の入院患者への口腔ケアの取り組みの現状について
信楽園病院歯科口腔外科 本間 彰人

14:50 ~ 15:30

一般セッション / O6 臨床統計②

座長：里村 一人（鶴見大学歯学部口腔内科学講座）

- O6-1 当科における過去6年間のシェーグレン症候群患者の臨床的検討
日本歯科大学新潟病院口腔外科
日本歯科大学新潟病院口のかわき治療外来 中谷 佑哉
- O6-2 令和5年認定研修歯科診療施設での訪問歯科診療の実態調査
医療法人社団明法会
医療法人松北歯科クリニック 本間 英孝
- O6-3 当科における入院管理を行った抜歯症例の臨床的検討
明海大学歯学部病態診断治療学講座口腔顎顔面外科学分野 平良芙蓉子
- O6-4 歯科インプラント手術患者における既往歴および内服薬についての実態調査
社会医療法人仁愛会 新潟中央病院歯科口腔外科 鶴巻 浩
- O6-5 当科で行った抗血栓薬内服中の患者に対する入院下での抜歯に関する統計
北アルプス医療センターあづみ病院歯科口腔外科 田中章太郎

9:45～10:25

一般セッション／O7 血液疾患①

座長：宮田 勝（石川県立中央病院歯科口腔外科）

- O7-1 血小板輸血下に抜歯を行った特発性血球減少症患者の1例
 東京大学医学部附属病院口腔顎顔面外科・矯正歯科 大川内裕理
- O7-2 口腔カンジダを契機として AIDS の診断に至った一例
 高岡市民病院歯科口腔外科 八藤後 堯
- O7-3 診療科連携により血友病 A と診断された患者に対して抜歯を行った1例
 昭和大学歯学部全身管理歯科学講座医科歯連携診療歯科 江並 沙羅
- O7-4 洗浄血小板が有用であった血小板減少を伴う輸血アレルギー患者の1例
 岐阜大学大学院医学系研究科口腔外科学分野
 中濃厚生病院歯科口腔外科 林 樹
- O7-5 最重症再生不良性貧血患者に対して抜歯術を施行した1例
 東京医科大学医学部口腔外科分野 鈴木 勘介

10:30～11:10

一般セッション／O8 基礎疾患と患者管理

座長：矢郷 香（国際医療福祉大学三田病院歯科口腔外科）

- O8-1 妊婦における基礎疾患と口腔内状況との関連性を調査し，効果的な口腔管理を
 検討する研究—自己免疫疾患合併妊婦について—
 国立研究開発法人国立成育医療研究センター周産期・
 母性診療センター周産期歯科 齋藤 亮
- O8-2 舌の異常出血を契機にアルコール性肝硬変と診断された1例
 新潟大学大学院医歯学総合研究科顎顔面口腔外科 齋藤 夕子
- O8-3 抗 NMDA 受容体脳炎患者のオーラルジスキネジアに対し
 ハードスプリント装着で対応した1例
 さいたま赤十字病院口腔外科
 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔機能再構築学講座
 顎口腔腫瘍外科学分野 高坂 光
- O8-4 パーキンソン病患者に対して多数のインプラント抜去術を施行した1例
 国際医療福祉大学三田病院歯科口腔外科 阿久津真奈

- O8-5 歯科治療時の口腔乾燥を契機に鑑別診断および治療を施行した
抗セントロメア抗体陽性シェーグレン症候群の一例
東京大学医学部附属病院口腔顎顔面外科・矯正歯科 佐藤 幹

11:15～11:55

一般セッション／O9 良性腫瘍・嚢胞

座長：栗田 浩（信州大学医学部歯科口腔外科）

- O9-1 子宮頸癌の化学療法中に発生した舌化膿性肉芽腫の1例
高松赤十字病院歯科口腔外科
植松歯科クリニック 植松 彩
- O9-2 上唇に生じた血管内乳頭状内皮過形成の1例
京都大学大学院医学研究科感覚運動系外科学講座口腔外科学分野 波多野 光
- O9-3 右側頬部に生じた鶏卵大の脂肪腫の1例
国立病院機構九州医療センター歯科口腔外科口腔腫瘍・口腔ケアセンター
国立病院機構九州医療センター臨床研究センター 米澤 暁
- O9-4 顎関節に発生した滑膜軟骨腫症の1例
東京都立墨東病院歯科口腔外科 玉田 八束
- O9-5 小児患者に発生した下顎骨動静脈奇形の1例
日本歯科大学新潟病院口腔外科 薄井 成子

13:20～14:00

一般セッション／O10 口腔粘膜疾患①

座長：小川 隆（東京医科大学八王子医療センター）

- O10-1 口腔健康管理によって摂食障害を改善できた線状IgA水疱性皮膚症の1例
国立病院機構埼玉病院歯科口腔外科 雨宮 剛志
- O10-2 ビスホスホネート製剤の不適切な服用により発症が疑われた口腔粘膜潰瘍の1例
TMG あさか医療センター歯科口腔外科
東京女子医科大学医学部歯科口腔外科学講座 賀川 千瑛
- O10-3 口唇に発症したLaugier-Hunziker-Baran症候群の1例
埼玉医科大学総合医療センター歯科口腔外科 芝 利嗣
- O10-4 口腔内異常感症における *Candida* の関与についての臨床的検討
明海大学歯学部病態診断治療学講座口腔顎顔面外科学分野 森 一将
- O10-5 口腔内に初発症状を認めた腫瘍随伴性天疱瘡の1例
熊本市立熊本市市民病院歯科口腔外科 町田 李菜

14:05 ~ 14:45

一般セッション / O11 先天異常・顎変形症

座長：近津 大地（東京医科大学口腔外科学分野）

- O11-1 初診時スクリーニング検査で凝固因子活性低下を認めた顎変形症の2例
東京歯科大学口腔顎顔面外科学講座 井川 瑞葵
- O11-2 トリソミー8症候群患者に対して全身麻酔下にて抜歯術を施行した1症例
東京女子医科大学附属足立医療センター歯科口腔外科 中島 恵
- O11-3 当科で経験した口唇口蓋裂を伴う13トリソミーの臨床的検討
生協ひまわり歯科
あいち小児保健医療総合センター歯科口腔外科 野呂 香菜
- O11-4 血管型エーラス・ダンロス症候群患者の抜歯経験
慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室 榎谷 鑑庫
- O11-5 抜歯後出血を契機に発見された先天性第Ⅷ因子と第Ⅺ因子欠乏症の2例
日本大学歯学部口腔外科第Ⅰ講座 疋田 光波

14:50 ~ 15:30

一般セッション / O12 高齢者

座長：竹川 政範（旭川医科大学歯科口腔外科学講座）

- O12-1 当科における過去10年間の90歳以上の顎骨骨髄炎症例
公立富岡総合病院歯科口腔外科 金井 秀子
- O12-2 過去5年間における90歳以上超高齢者入院患者の臨床統計的検討
日本歯科大学新潟病院口腔外科 赤柴 竜
- O12-3 歯肉腫脹と顔面発赤を主訴に口腔外科を紹介受診した超高齢者の顔面丹毒の1例
鹿児島市立病院歯科口腔外科
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科顎顔面機能再建学講座顎顔面疾患制御学分野 新田 哲也
- O12-4 認知症高齢者の全身麻酔における脳血流量の変化—健常者との比較
神奈川歯科大学全身管理歯科学講座高齢者歯科学分野 森本 佳成
- O12-5 アスピリン喘息の既往を有する超高齢患者における外歯瘻手術時の
周術期管理の1例
日本歯科大学生命歯学部歯科麻酔学講座 篠原健一郎

13:20～14:00

一般セッション／O13 周術期管理・麻酔管理

座長：森本 佳成（神奈川歯科大学全身管理歯科学講座高齢者歯科学分野）

- O13-1 口腔外科外来において血管迷走神経反射と思われた症例の検討
 湘南歯科口腔外科クリニック 堀本 進
- O13-2 歯科用局所麻酔の侵襲が原因と思われる三叉神経心臓反射により
 心静止が生じた1例
 信州大学医学部附属病院特殊歯科・口腔外科 林 香里
- O13-3 頸部の拡張によりラリンジアルマスクエアウェイから気管挿管への変更を
 余儀なくされた1例
 社会医療法人大道会森之宮病院歯科診療部
 社会医療法人大道会ボバース記念病院歯科診療部 旭 吉直
- O13-4 慢性心不全を伴う拡張型心筋症患者の継続的麻酔管理経験
 日本大学松戸歯学部歯科麻酔学講座 辻 理子
- O13-5 肝芽腫および転移性肺腫瘍切除後の生体肝移植術後患児に対する全身麻酔の経験
 鶴見大学歯学部歯科麻酔学講座 矢口絵莉香

14:05～14:40

一般セッション／O14 歯科衛生士セッション①

座長：吉武 博美（(医)伊東会伊東歯科口腔病院）

- O14-1 当院ICUにおけるOHAT-J導入に際し、現時点での看護師の口腔ケアへの
 意識調査
 中通総合病院外来診療部
 中通総合病院歯科口腔外科 羽崎 恵美
- O14-2 在宅療養中の顎骨壊死(MRONJ, ORN)患者に対して口腔衛生管理を
 行った2症例
 日本歯科大学新潟病院歯科衛生科 澤田 佳世
- O14-3 当科における感染予防対策の改善
 医療法人溪仁会 手稻溪仁会病院歯科口腔外科 菊地 和代
- O14-4 当院における周術期等口腔機能管理の現状と課題について
 川崎市立多摩病院歯科口腔外科 山科由美子

14:45～15:20

一般セッション／O15 歯科衛生士セッション②

座長：金子 忠良（医療法人社団嬉泉会 嬉泉病院歯科口腔外科）

- O15-1 黒色舌苔を生じたリウマチ患者に対し、口腔衛生管理を行ったことで
症状改善し、QOLの向上が認められた1症例
（医）伊東会伊東歯科口腔病院 上村 里美
- O15-2 骨粗鬆症リエゾンサービスでの歯科介入推進に向けて
社会医療法人仁愛会 新潟中央病院歯科口腔外科 池田 由香
- O15-3 低酸素脳症後遺症による高次機能障害患者に対する経口摂取開始に携わった一例
日本歯科大学新潟病院歯科衛生科 岡田 優香
- O15-4 新潟県立がんセンター新潟病院におけるニボルマブ投与患者の
周術期口腔機能管理の現状
新潟県立がんセンター新潟病院歯科口腔外科 若月 真実

3月9日(土)【E会場(5F 波光)】

9:45～10:25

一般セッション／O16 炎症・感染症①

座長：小笠原健文（町田市民病院歯科・歯科口腔外科）

- O16-1 菌性感染症が原因と考えられた侵襲性クレブシエラ感染症の1例
医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院歯科口腔外科 金子 剛
- O16-2 下顎蜂窩織炎に起因したと考えられる内因性眼内炎を発症し、失明に至った1例
東京医科大学口腔外科学分野 市川さゆり
- O16-3 当科で診断した破傷風3例の臨床的検討
自治医科大学医学部歯科口腔外科学講座 小貫 安紀
- O16-4 抗リン脂質抗体陽性患者に生じた壊死性軟部組織感染症の1例
慶應義塾大学病院医学部歯科・口腔外科教室 沼山 浩明
- O16-5 透析患者に生じた頸部壊死性筋膜炎の1例
町田市民病院口腔外科 前田 洋貴

10:30 ~ 11:20

一般セッション / O17 悪性腫瘍

座長：戸谷 収二（日本歯科大学新潟病院口腔外科）

- O17-1 同種末梢血幹細胞移植後患者に生じた慢性 GVHD 関連舌癌の 1 例
東京歯科大学オーラルメディスン・病院歯科学講座 亀本 滉樹
- O17-2 下顎骨に発生した顎骨中心性腺様嚢胞癌の 1 例
独立行政法人国立病院機構九州医療センター歯科口腔外科 谷口 晃大
- O17-3 周術期口腔管理を契機に胃癌の下顎骨転移の診断に至った 1 例
紀南病院歯科口腔外科
香川大学医学部歯科口腔外科学講座 高尾健二郎
- O17-4 放射線性下顎骨骨髓炎に併発した下顎歯肉癌の 1 例
日本歯科大学附属病院口腔外科 加藤 雄大
- O17-5 舌に転移をきたした腎細胞癌の 1 例
大阪医科薬科大学病院歯科口腔外科 北村 穂華
- O17-6 リアルワールドデータを用いた歯原性癌腫患者の遺伝子異常の解析
名古屋大学大学院医学系研究科頭頸部感覚器外科学講座顎顔面外科学 市村 典久

11:25 ~ 12:05

一般セッション / O18 周術期管理・麻酔管理

座長：砂田 勝久（日本歯科大学生命歯学部歯科麻酔学講座）

- O18-1 心肺停止蘇生後の先天性 QT 延長症候群 3 型患児に対し歯科治療時の
全身管理を行った 1 例
徳島大学大学院医歯薬学研究部歯科麻酔科学分野 高石 和美
- O18-2 完全房室ブロック由来の徐脈に対し、一時的経静脈ペーシングを用いて
全身麻酔下手術を行った 1 例
JA 長野厚生連長野松代総合病院歯科口腔外科 秋谷 勇介
- O18-3 カテコラミン誘発多形性心室頻拍患者に対して全身麻酔下に上下智歯抜歯を
施行した 1 例
久留米大学医学部歯科口腔医療センター 喜久田翔伍
- O18-4 多数の既往を有する上下顎骨骨髓炎の患者に対し慎重な周術期管理により
全身麻酔下に外科的治療を行なった 1 例
東京大学医学部附属病院口腔顎顔面外科・矯正歯科
脳神経疾患研究所附属総合南東北病院歯科口腔外科 石橋 牧子
- O18-5 NSAIDs 不耐症が疑われる患者に対して抜歯を行った 2 症例
旭川医科大学医学部歯科口腔外科学講座 川端 麻瑚

13:50～14:40

一般セッション／O19 周術期口腔管理

座長：岩渕 博史（国際医療福祉大学病院歯科口腔外科）

- O19-1 節外性NK/T細胞リンパ腫患者の移植前に抜歯後感染を生じた1例
長崎大学病院口腔管理センター 中今 夏子
- O19-2 同種造血細胞移植患者の味覚評価に関する検討
九州大学病院医療技術部歯科衛生室 塚本 葉子
- O19-3 新型コロナウイルス感染症流行下における当院の周術期口腔機能管理に
ついての報告
宇治徳洲会病院歯科口腔外科
京都府立医科大学附属病院歯科 藤田 桂子
- O19-4 頭頸部（化学）放射線療法における口腔粘膜保護材使用についての検討
国立病院機構四国がんセンター歯科口腔外科 古川 康平
- O19-5 術前に緊急介入を行った口腔機能管理の4症例
鹿児島市立病院歯科口腔外科 松元 勇樹
- O19-6 動脈瘤に対するステントグラフト内挿手術における周術期の歯科介入効果の検討
昭和大学藤が丘病院・病院歯科 安藤有里子

14:45～15:25

一般セッション／O20 血液疾患②

座長：林 勝彦（東京慈恵会医科大学附属病院歯科口腔外科）

- O20-1 口腔内出血を契機に特発性血小板減少性紫斑病が診断された一例
JA長野厚生連北信総合病院特殊歯科口腔外科 後藤 弘一
- O20-2 口腔症状を訴えて当科を受診した血液疾患の3例
医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院歯科口腔外科 細田 眞照
- O20-3 シクロスポリンA休薬により薬剤性歯肉増殖症が消退した2例
釧路労災病院歯科口腔外科 松本 侑樹
- O20-4 リウマトレックスによる汎血球減少症に顎骨露出を合併した1例
近畿大学奈良病院歯科口腔外科
精華町国民健康保険病院歯科口腔外科 丹羽 慎弥
- O20-5 骨髄異形成症候群の患者に抜歯術を施行した1例
富山大学学術研究部医学系歯科口腔外科学講座 朝倉みな実

3月10日(日)【B会場(3F 悠久B)】

9:15～9:50

一般セッション／O21 病院歯科の現状・課題

座長：山内 智博（がん・感染症センター都立駒込病院歯科口腔外科）

- O21-1 口腔癌患者における非外科療法に伴う経済毒性の検討
富山大学学術研究部医学系歯科口腔外科学講座 高塚 団貴
- O21-2 栃木県における HIV 感染者/AIDS 患者に対する歯科治療の現状と課題
獨協医科大学医学部口腔外科学講座 和田 怜
- O21-3 昭和大学江東豊洲病院歯科・歯科口腔外科開設後5年間における患者の
臨床統計学的観察
昭和大学歯学部口腔外科学講座顎顔面口腔外科学部門 安田 有沙
- O21-4 あがの市民病院歯科口腔外科における訪問診療の活動状況
あがの市民病院歯科口腔外科 辻内 実英

9:55～10:35

一般セッション／O22 基礎疾患と患者管理

座長：内田 大亮（愛媛大学大学院医学系研究科口腔顎顔面外科学講座）

- O22-1 静脈内鎮静法下に抜歯術を行った副腎白質ジストロフィー患者の1例
新百合ヶ丘総合病院歯科口腔外科 藤井 誠子
- O22-2 薬剤関連顎骨壊死（MRONJ）の治療を契機に狭心症が発見された1例
医療法人島門会 本島総合病院歯科・口腔外科 麻野 和宏
- O22-3 同時性口腔内多発癌を発症した家族性地中海熱患者の1例
旭川医科大学医学部歯科口腔外科学講座 飯田 理人
- O22-4 顎口腔領域に多様な所見を呈した里吉病患者の1例
東京都立広尾病院歯科口腔外科 武智 小桃
- O22-5 疾患修飾薬オフアツムマブにより治療されている多発性硬化症患者の抜歯経験
ときわ病院歯科口腔外科 檜山 弥侑

10:40～11:20

一般セッション／O23 炎症・感染症②

座長：小林 恒（弘前大学医学部歯科口腔外科）

- O23-1 高齢者の下顎智歯抜歯後感染によりガス産生性頬部蜂窩織炎を生じた1例
新百合ヶ丘総合病院歯科口腔外科 増田 智丈
- O23-2 片側性副鼻腔疾患における上顎洞に骨肥厚を認めた150例についての検討
杏林大学医学部附属病院耳鼻咽喉科・顎口腔外科
日本歯科大学生命歯学部口腔外科学講座 池田 哲也
- O23-3 入院加療を要した菌性感染症の臨床的検討
愛媛大学大学院医学系研究科口腔顎顔面外科学講座 徳善 紀彦
- O23-4 歯科により感染したと考えられた感染性心内膜炎患者に対する歯科治療経験
福岡歯科大学総合歯科学講座訪問歯科センター 薬師寺正道
- O23-5 両側性に生じた耳下腺線維素性唾液管炎の一例
奈良県立医科大学口腔外科学講座 新子 寿未

11:25～12:05

一般セッション／O24 基礎疾患と患者管理

座長：山口 秀紀（日本大学松戸歯学部歯科麻酔学講座）

- O24-1 嚥下外来受診を契機に診断に至ったALSの1例
高岡市民病院歯科口腔外科 篠原 治征
- O24-2 術前検査にてBrugada型心電図を指摘された1例
川崎市立多摩病院歯科口腔外科 市川はるの
- O24-3 視神経脊髄炎スペクトラム障害患者の抜歯経験
明海大学歯学部病態診断治療学講座口腔顎顔面外科学分野 松本 安吏
- O24-4 高度肥満のため胸髄症を発症した重度自閉症、重度知的障害者の治療経験
地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院歯科・歯科口腔外科 須藤亜紀子
- O24-5 歯科受診をきっかけにMeige症候群患者に医科歯科連携支持的医療を提供した1症例
九州大学病院高齢者歯科・全身管理歯科 谷 明日香

9:15～9:55

一般セッション／O25 口腔粘膜疾患②

座長：鶴澤 一弘（千葉大学大学院医学研究院先端がん治療学研究講座口腔科学）

- O25-1 セミプリマブ投与患者の口腔内に生じた苔癬様病変の1例
旭川医科大学医学部歯科口腔外科学講座 庭瀬 俊
- O25-2 退院後に疼痛を伴う口腔粘膜症状を発症した同種造血幹細胞移植後の2症例
国家公務員共済組合連合会浜の町病院歯科 野上 純子
- O25-3 上顎洞底挙上術を施行した遺伝性血管性浮腫3型の1例
京都大学大学院医学研究科感覚運動系外科学講座口腔外科学分野 渡邊 拓磨
- O25-4 臨床的診断で遺伝性血管浮腫（HAE）疑い症例の検討
国立病院機構あきた病院秋田神経難病医療センター歯科 鈴木 史人
- O25-5 ビスホスホネート製剤の口腔内停滞が原因と考えられた難治性粘膜炎の2例
福岡歯科大学口腔・顎顔面外科学講座口腔腫瘍学分野 吉住 潤子

10:00～10:35

一般セッション／O26 その他

座長：西條 英人（東京大学医学部口腔顎顔面外科講座）

- O26-1 保存的治療によって寛解したBell麻痺の2例
医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院口腔外科 萩野 貴磨
- O26-2 A型ボツリヌス毒素を用いた睡眠時ブラキシズム治療の一例
牟礼南デンタルオフィス 松田 憲一
- O26-3 COVID-19パンデミックが智歯抜歯術を受ける患者の術前不安に及ぼした影響について
福岡大学病院歯科口腔外科 瀬戸 美夏
- O26-4 乾燥と紫外線による皮膚細胞障害に対する「燕の巣」の防御効果
日本歯科大学生命歯学部歯科麻酔学講座 島村 直宏

10:40～11:20

一般セッション／O27 基礎疾患と患者管理

座長：河合 貴久（河合歯科医院）

- O27-1 観血的整復術に至った統合失調症患者の陳旧性顎関節脱臼の1例
東京歯科大学オーラルメディシン・病院歯科学講座 米山 萌

- O27-2 逆嚥下の残存するアテトーゼ型脳性麻痺患者に対して歯科治療と
口腔機能管理を行い経口摂取が安定した1例
日本歯科大学新潟病院訪問歯科口腔ケア科 相田 亮平
- O27-3 感染性心内膜炎発症患者の口腔状態についての調査・検討
福岡歯科大学成長発達歯学講座障害者歯科学分野 森田 浩光
- O27-4 既往歴の多い高齢者の巨大な骨腫に対する治療経験
大阪医科薬科大学医学部口腔外科教室 藤原久美子
- O27-5 当科が管理したうつ病患者が服用している抗うつ薬について
日本大学松戸歯学部歯科麻酔学講座 福田 えり

11：25～12：00

一般セッション／O28 炎症・感染症③

座長：川又 均（獨協医科大学医学部口腔外科学講座）

- O28-1 晩期残存乳歯の歯周炎により頬部蜂巣炎を生じた高IgE症候群患者の1例
岐阜大学大学院医学系研究科感覚運動医学講座口腔外科学分野 井上 敬介
- O28-2 口腔衛生管理中に発症した上下顎放射線性骨壊死の1例
日本歯科大学新潟生命歯学部顎口腔全身関連治療学 小林 由奈
- O28-3 異所性石灰化が原因と考えられた頬部膿瘍の1例
東京医科大学病院卒後臨床研修センター 小田陽菜乃
- O28-4 高齢肥満患者の歯性感染から急激に波及した頸部壊死性軟部組織感染症の1例
日本歯科大学新潟生命歯学部口腔外科学講座 全 あけ美

第33回（一社）日本有病者歯科医療学会総会・学術大会 ポスター発表 発表日時

3月9日(土)【ポスター会場（5F 常磐）】

14：20～14：50

P1 患者管理・周術期口腔機能管理

座長：石井 宏昭（聖マリアンナ医科大学川崎市立多摩病院歯科口腔外科）

P1-1 眼筋型重症筋無力症を有する歯科恐怖症患者への全身管理下での
多数歯齲蝕治療の1例

昭和大学歯学部全身管理歯科学講座医科歯科連携診療歯科学部門

森 美菜

P1-2 下顎埋伏智歯の抜歯術を施行したG6PD異常症患者の1例

琉球大学大学院医学研究科顎顔面口腔機再建学講座

村橋 信

P1-3 難治性てんかんのため迷走神経刺激装置植え込み後の患者に対し、
全身麻酔下での抜歯を行った1例

旭川医科大学医学部歯科口腔外科学講座

岡 久美子

P1-4 肺動脈狭窄症の既往を有するWilliams症候群患者の抜歯経験

国立病院機構岡山医療センター歯科

角南 次郎

P1-5 当科で行った血友病患者の口腔外科小手術における臨床的検討

愛媛大学大学院医学系研究科口腔顎顔面外科学講座

桐原 祐喜

P1-6 生体肝移植における患者の周術期口腔管理～観血的処置の注意点について～

長崎大学病院口腔管理センター

江頭 寿洋

14：20～14：50

P2 薬剤関連顎骨壊死・その他

座長：小林英三郎（日本歯科大学新潟病院口腔外科）

P2-1 Incidence of MRONJ according to tooth extraction period
in patients administered Prolia – Retrospective study

Department of Advanced General Dentistry, Yonsei university college
of Dentistry, Seoul, Korea

Dahyun Seo

P2-2 Is medication-related osteonecrosis of the jaw around implant triggered
by the implant prostheses and peri-implantitis ?

Department of Advanced General Dentistry, College of Dentistry,
Yonsei University, Seoul, Korea

Kim Jaeyeon

- P2-3 嚥下障害と開口障害を主訴とした破傷風の一例
医療法人社団三思会くすの木病院歯科口腔外科
日本歯科大学新潟生命歯学部歯科麻酔学講座 中野みゆき
- P2-4 グルココルチコイド誘発性骨粗鬆症に対する骨修飾薬投与後の
薬剤関連顎骨壊死の発症状況
新潟新潟大学医歯学総合病院口腔再建外科 佐久間英伸
- P2-5 保存的治療が有効と考えられた広範囲に及ぶ薬剤関連顎骨壊死の1例
医療法人徳洲会 中部徳洲会病院歯科口腔外科 新崎 啓介
- P2-6 メソトレキセート製剤を誤って連日服用し口腔粘膜炎を発症した
関節リウマチ患者の一例
医療法人おもと会 大浜第一病院歯科・歯科口腔外科 新谷 晃代

14:20～14:40

P3 歯科衛生士セクション

座長：大橋 誠（日本歯科大学新潟生命歯学部歯科麻酔学講座）

- P3-1 医療・介護従事者及び一般市民向け口腔ケアネットワークの活動報告
信州大学医学部附属病院特殊歯科・口腔外科 高橋 絢
- P3-2 人工呼吸器管理中に舌潰瘍が発生した患者に対して口腔衛生管理を施行した1例
奈良県総合医療センター口腔外科 中西 優実
- P3-3 同種造血幹細胞移植患者の口腔衛生管理統一化の取り組み
石川県立中央病院歯科技術室 島田 遥
- P3-4 10年以上の長期にわたり口腔衛生管理を継続した舌癌患者の1例
日本歯科大学新潟病院歯科衛生科 相方 恭子

14:50～15:20

P4 高齢者

座長：高山 史年（医療法人社団明法会）

- P4-1 観血的処置が有効であった認知症高齢者の習慣性顎関節脱臼の1例
医療法人徳洲会 南部徳洲会病院歯科口腔外科 後藤 新平
- P4-2 入院下にて治療を要した超高齢認知症患者における重症菌性感染症の1例
日本歯科大学新潟生命歯学部顎口腔全身関連治療学 町田 東子
- P4-3 経管栄養の要介護高齢者の口腔粘膜水分量と剥離上皮膜形態との関係
広島大学病院障害者歯科 朝比奈滉直
- P4-4 認知症高齢患者の両側下顎骨骨折に対して観血的整復固定術を行った1例
JA新潟厚生連 村上総合病院歯科口腔外科 平井 悟

- P4-5 嚥下内視鏡検査実施時に偶発的に咽頭異物が発見された認知症患者の1例
筑波大学医学医療系顎口腔外科
北茨城市民病院歯科口腔外科 福澤 智
- P4-6 認知機能低下に伴う高齢者に発症した重症菌性感染症の1例
明海大学歯学部病態診断治療学講座口腔顎顔面外科学分野
IMS 太田中央総合病院歯科・口腔外科 織田 敬子

14:50～15:20

P5 炎症・感染症

座長：内藤 克美（浜松医療センター口腔外科）

- P5-1 頸部膿瘍におけるドレナージ術後抜管困難症例の特徴
加古川中央市民病院歯科口腔外科 岩田 英治
- P5-2 小児に発症した非細菌性下顎骨骨髓炎の1例
千葉大学大学院医学研究院先端がん治療学研究講座口腔科学 生川 太門
- P5-3 感染性心内膜炎が疑われた患者の全身麻酔下抜歯術時に、
経食道心エコー検査を行った1症例
近畿大学病院麻酔科
近畿大学病院歯科口腔外科 青木 理紗
- P5-4 典型的な臨床症状を伴わず、診断に苦慮した不全型伝染性単核球症の1例
日本歯科大学新潟生命歯学部口腔外科学講座 菊地 庸佑
- P5-5 当院における血液培養陽性患者の検討
名古屋市立大学附属病院西部医療センター歯科口腔外科 菱田 純代
- P5-6 新型コロナウイルス感染症の影響で転院搬送に難渋した頸部蜂窩織炎患者を
救命し得た経験
香川大学医学部歯科口腔外科学講座
総合大雄会病院歯科口腔外科 石濱 嵩統

3月10日(日)【ポスター会場(5F 常磐)】

9:15～9:40

P6 周術期管理・麻酔管理

座長：阿部 恵一（日本歯科大学附属病院歯科麻酔・全身管理科）

- P6-1 異所性埋伏歯によって気管挿管チューブが破損した1例
野崎徳洲会病院 斎藤 忠仁

- P6-2 誤飲した歯科的異物を全身麻酔下で摘出した2例
東海大学医学部附属病院外科学系麻酔科
岩手医科大学歯学部障害者歯科 尾崎 貴子
- P6-3 歯科鎮静中に発作性心房細動が観察されたアルツハイマー型認知症患者の1例
昭和大学江東豊洲病院歯科麻酔科 幸塚 裕也
- P6-4 Saddleback型Brugada症候群を呈する舌癌患者の周術期管理
医療法人徳洲会 南部徳洲会病院歯科口腔外科 慶田友里恵
- P6-5 全身管理下に下顎水平埋伏智歯抜歯を行った拡張型心筋症の1例
医療法人社団札幌歯科口腔外科クリニック
札幌医科大学医学部口腔外科学講座 神 麻紀也

9:15～9:40

P7 口腔粘膜疾患

座長：吉田 俊一（NHO霞ヶ浦医療センター歯科口腔外科）

- P7-1 透析患者にみられた非イオン性ヨード造影剤によるびらん性口内炎を生じた1例
医療法人若竹会つくばセントラル病院歯科口腔外科 根本 雅子
- P7-2 DPP-4阻害薬の関連が疑われた難治性口内炎の1例
医療法人社団札幌歯科口腔外科クリニック
北海道医療大学歯学部生体機能・病態学系臨床口腔病理学分野 神野 由貴
- P7-4 上顎歯肉に生じた開口部形質細胞症の1例
山梨勤労者医療協会歯科群歯科口腔外科 仁村 文和
- P7-6 Covid-19ワクチン接種後にヘルペス性口内炎・口唇炎の発症を疑った2例
調布総合デンタルクリニック
大平医院 長南 真衣
- P7-7 下顎に生じたEBV陽性皮膚粘膜潰瘍の1例
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科口腔顎顔面外科学分野 大沼 瑞穂

9:15～9:45

P8 その他①

座長：山口 晃（日本歯科大学）

- P8-1 歯科標榜のない病院介護医療院への訪問歯科診療患者の日常生活自立度に関する口腔内状況の比較調査
社会医療法人若竹会つくばセントラル病院歯科口腔外科 佐々木彩子

- P8-2 当院における 90 歳以上の超高齢者患者の検討
医療法人どい歯科口腔外科クリニック（歯科医師） 土肥 豊
- P8-3 丸亀市本島における離島口腔がん検診の現状
香川大学医学部歯科口腔外科学講座 田所 知弥
- P8-4 急性期病院における窒息事例の検討
国立病院機構熊本医療センター歯科口腔外科 谷口 広祐
- P8-5 顔面多発骨折を含む多発外傷の 1 例
新潟県立中央病院歯科口腔外科 村山 和義
- P8-6 歯科治療時にアナフィラキシーを生じた 2 例
社会医療法人財団白十字会 白十字病院歯科口腔外科 青柳 直子

9：50～10：20

P9 良性腫瘍・悪性腫瘍・嚢胞

座長：武田 幸彦（新潟県立中央病院歯科口腔外科）

- P9-1 口腔内に発症した Madelung 病の 2 例
医療法人嬉泉会 嬉泉病院歯科口腔外科 今井 和博
- P9-2 両側下顎臼歯部に発生した骨外性歯牙腫の 1 例
総合病院中津川市民病院歯科口腔外科 水野 肇
- P9-3 線維筋痛症患者の上顎歯肉に発生した骨形成性エプーリスの 1 例
浅間総合病院歯科口腔外科 瀧沢 淳
- P9-4 胃癌患者の下唇に生じたラムシルマブ関連 Pyogenic Granuloma の 1 例
富士市立中央病院歯科口腔外科 渡辺 絃士
- P9-5 当科における後期高齢口腔扁平上皮癌患者に関する臨床的検討
秋田大学医学部附属病院歯科口腔外科 五十嵐秀光
- P9-6 歯肉転移をきたした腎細胞癌の 1 例
東京女子医科大学医学部歯科口腔外科学講座口腔顎顔面外科学分野 前田 祐佳

9：50～10：20

P10 その他②

座長：下川千可志（新宿新都心歯科口腔外科クリニック）

- P10-1 キアリ奇形が原因と思われる若年者特発性三叉神経痛の一例
愛媛県立中央病院歯科 荒本 孝良
- P10-2 脊髄損傷により四肢完全麻痺を生じた高度肥満症患者の治療経験
新潟県立中央病院歯科口腔外科 田村 隆希

- P10-3 健常者の空気嚥下症に対して異なるアプローチで症状が緩和した2症例の比較
 日本歯科大学新潟病院訪問歯科口腔ケア科
 日本歯科大学新潟病院口腔ケア機能管理センター 吉岡 裕雄
- P10-4 本院歯科における針刺し・切創に関する事例の検討
 東京医科歯科大学大学院歯科麻酔・口腔顔面痛制御学分野
 東京医科歯科大学病院感染制御部 伊藤 孝哉
- P10-5 舌異常感を訴えて当科を受診し、血液検査を行った18例の臨床的検討
 医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院歯科口腔外科 大江 将史
- P10-6 外科的歯肉切除を行った薬剤性歯肉増殖症の1例
 東京都立病院機構東京都立豊島病院歯科口腔外科 鯉沼 里佳

**第33回 (一社)日本有病者歯科医療学会総会・学術大会
プログラム**

令和6年3月

発行：第33回 (一社)日本有病者歯科医療学会総会・学術大会 主催事務局

大会長：田中 彰

副大会長：松崎 正樹

実行委員長：戸谷 収二

準備委員長：佐久間 要

〒951-8580 新潟市中央区浜浦町1-8

日本歯科大学新潟生命歯学部口腔外科内

TEL：025-211-2113

運営：〒950-0983 新潟市中央区神道寺1丁目6-14

事務局 株式会社シンセンメディカルコミュニケーションズ内

TEL：025-278-7232 FAX：025-278-7285

制作：株式会社学術社

〒115-0055 東京都北区赤羽西6-31-5

TEL：03-5924-1233 FAX：03-5924-4388

謝 辞

第33回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会の開催にあたり、下記のとおり多くの皆様よりご支援、ご協力をいただきました。ここに深甚なる感謝の意を表します。

第33回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会
大会長 田中 彰

後 援

一般社団法人 新潟県歯科医師会

寄 附

沖歯科要材 株式会社

株式会社 考古堂書店

日本歯科大学新潟生命歯学部口腔外科同門会
株式会社 YDM

共催セミナー

イーエヌ大塚製薬 株式会社

株式会社 大塚製薬工場

サンスター 株式会社

CSL ベーリング 株式会社

企業展示

一般社団法人 遺伝性血管性浮腫診断コンソーシアム

有限会社 オーラス

森永乳業クリニコ 株式会社

株式会社 ZAICO

サンスター 株式会社

株式会社 シーエムエス

ジャパंकオリティ 株式会社

株式会社 セキムラ

ティーアンドケー 株式会社

株式会社 モリタ

株式会社 ヨシダ

書籍展示

沖歯科要材 株式会社

クインテッセンス出版 株式会社

プログラム集・抄録集 広告掲載

沖歯科要材 株式会社

クロスウィルメディカル 株式会社

CSL ベーリング 株式会社

株式会社 ジーシー

帝人メディカルテクノロジー 株式会社

日本歯科薬品 株式会社

Meiji Seika ファルマ 株式会社

株式会社 モリタ

バナー広告掲載

キッセイ薬品工業 株式会社

株式会社 ジーシー昭和薬品

(五十音順・敬称略)

Thinking ahead. Focused on life.



Portacube+

ポータキューブ+



軽い、簡単、快適

ポータキューブ+ はチェアユニットと共通のハンドピースが使用可能な
All in One の訪問診療用ポータブルユニット。

訪問先でも普段と変わらない診療が行える、静かで十分な吸引力を持つポータキューブ+(標準吸引タイプ)
に加え、より強力でチェアユニットと同等の吸引力を持つポータキューブ+ SV(高吸引タイプ)をラインナップ。
様々な機能により、快適な訪問診療をサポートします。



プロモーションはこちら



製品詳細ページはこちら

発売 株式会社 **モリタ** 大阪本社: 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 TEL 06-6380-2525 東京本社: 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 TEL 03-3834-6161 お問い合わせ: お客様相談センター 歯科医療従事者様専用 T 0800.222.8020 (フリーコール)
製造販売・製造 株式会社 **モリタ製作所** 本社工場: 京都府京都市伏見区東浜南町680 〒612-8533 TEL 075-611-2141 久御山工場: 京都府久世郡久御山町市田新珠城190 〒613-0022 TEL 0774-43-7594
販売名: ポータキューブ+ 一般的名称: 可搬式歯科用ユニット 機器の分類: 管理医療機器 (クラスII) 特定保守管理医療機器 医療機器認証番号: 301ACBZX00008000

Morita Global Site: www.morita.com



血漿分画製剤（乾燥濃縮人C1-インアクチベーター製剤）
特定生物由来製品 処方箋医薬品^{注)} 薬価基準収載

ベリナート[®]皮下注用2000

Berinert[®] S.C. Injection 2000

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等
情報等については電子添文をご参照ください

CSL Behring

製造販売（輸入）:

CSLベーリング株式会社

〒107-0061 東京都港区北青山一丁目2番3号

文献請求先及び問い合わせ先:

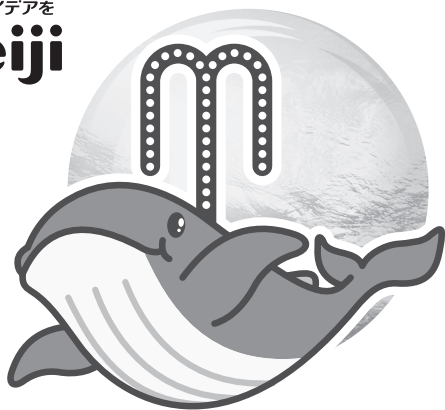
くすり相談窓口

TEL: 0120-534-587

2023年11月作成
JPN-BRN-0564

健康にアイデアを

meiji



経口用セフェム系抗生物質製剤

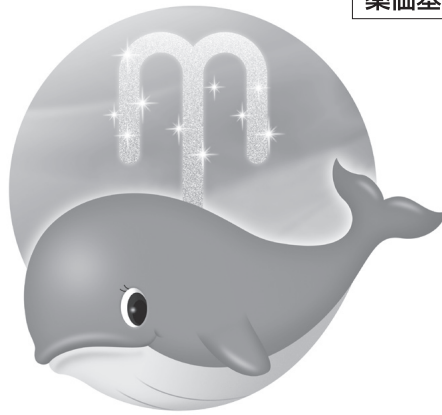
処方箋医薬品^{注)}

日本薬局方 セフジトレン ピボキシル錠

メイアクトMS[®]錠100mg

MEIACT MS[®] TABLETS 100mg

薬価基準収載



経口用セフェム系抗生物質製剤

処方箋医薬品^{注)}

日本薬局方 セフジトレン ピボキシル細粒

メイアクトMS[®]小児用細粒10%

MEIACT MS[®] FINE GRANULES 10%

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

※効能・効果、用法・用量、用法・用量に関連する使用上の注意、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意等、詳細は電子化された
製品添付文書をご参照ください。

製造販売元

Meiji Seika ファルマ株式会社

東京都中央区京橋 2-4-16

<https://www.meiji-seika-pharma.co.jp/>

〈文献請求先及び問い合わせ先〉

Meiji Seika ファルマ株式会社 くすり相談室

〒104-8002 東京都中央区京橋 2-4-16

フリーダイヤル(0120)093-396

電話(03)3273-3539、FAX(03)3272-2438

作成: 2022.8

歯科医療の総合産業を目指して

皆様のお役に立ちます

患者さんに合った
歯科医院のトータル
プロデュースを
いたします



最新機材による
CAD/CAM センター
ショットセンター常設

- ジルコニア
- CAD/CAM 冠
- チタン casting
- ノンメタルクラスデンチャー

歯科医療の総合商社 **沖 歯科要材株式会社**
TEL 025-266-6975 FAX 025-231-0802 E-mail okishika@wonder.ocn.ne.jp

信頼のハイクオリティ技工 **沖 歯科工業株式会社**
TEL 025-266-1445 FAX 025-266-1458 E-mail okid_production-unit@ae.auone-net.jp



沖 歯科グループ

〒950-2074 新潟市西区真砂3-23-2

SuperFLXSORB[®]/MX

吸収性骨接合材

骨伝導性

販売名 スーパーフィクソープMX30
承認番号 21800BZZ10062000
販売名 スーパーフィクソープMX40
承認番号 21800BZZ10063000

TEIJIN

Human Chemistry, Human Solutions



世界初の 高強度HA/PLLA コンポジット製 吸収性骨接合材

独自の圧縮鍛造製法により強化した非焼成ハイドロキシアパタイト (u-HA) 粒子とポリ-L-乳酸 (PLLA) との複合体からなる生体活性をもつ全吸収性骨接合デバイスです。

スーパーフィクソープ MXの特長

高強度
ヒト皮質骨以上の高い曲げ強度を持っています。

生体活性
骨結合性、骨伝導性を有しています。
周囲の生体骨と直接結合し、安定した初期固定を示し、治癒を促進します。

生体適合性・安全性
生体材料として使用実績のある生体適合性・安全性が確認された材料のみで構成されています。

製品ラインナップの充実
基本的なプレート形状はもちろんのこと、様々な固定位置に適した形状を準備しています。

CT視認性
CTの三次元画像により術後のインプラントの状態を容易に観察できます。

操作性を迫及したデザイン

- ・2サイズ (厚さ 1.0mm, 1.4mm) のミニプレート
- ・スクリューヘッドのロープロファイル化



スーパーフィクソープ MX (プレート厚さ1.4mm)

スーパーフィクソープ MX (プレート厚さ1.0mm)



スクリューの把持カアッ

※ 商品のお問い合わせにつきましては、下記までお願い致します。

製造販売元

帝人メディカルテクノロジー株式会社

本社 / 〒530-0005 大阪市北区中之島2-3-33(大阪三井物産ビル) TEL:(06)4706-2160 <http://teijin-medical.co.jp>

水を使わない口腔ケア
 についての詳しい情報は
 こちらから



口腔ケア用ジェル

お口を OKUCHI WO ARAU GEL 洗うジェル

【口腔化粧品】【包装・希望小売価格(税別)】25g・680円/80g・1,500円

誤嚥の心配がある患者さんに

ジェルと吸引管で

水を使わない 口腔ケア



口腔ケア用汚染物回収ツール

口腔ケア用吸引管

管理医療機器

医療機器認証番号：303ADBZX00005000

一般的名称：歯科用吸引管

【包装・標準価格(税別)】20本入・2,900円



名前と場所を変えて、新たに始まる
2023.11.20 リニューアルオープン!

株式会社 ジーシー 新潟デンタルオアシス

開設への想い

名称を“デンタルオアシス”とし、
歯科医療従事者の心休まる場所にしたい

分かりやすく
アクセスが良好な立地にしたい

常に新しい機材を体験できる
意義のある憩いの場所にしたい

GC



歯科に携わる皆さまの憩いの場。

そこは最新の歯科用機材が体験できる特別な空間。

それが株式会社ジーシーの新しいデンタルオアシスです。



株式会社 ジーシー

GC

新潟デンタルオアシス

〒951-8124

新潟県新潟市中央区医学町通2番町10-1 ダイアパレス医学町104

TEL:025-378-0840 FAX:025-378-0841

【営業時間 9:00~15:00 (土曜日、日曜日、祝日は除く)】

※駐車場はございません。近隣のコインパーキングまたは公共の交通機関をご利用ください。予めご了承くださいませようお願いします。



カスタマーサービスセンター お客様窓口 ☎ 0120-416480 受付時間 9:00a.m.~5:00p.m. (土曜日、日曜日、祝日を除く) <https://www.gc.dental/japan/>

支店 ●東京 (03)3813-5751 ●大阪 (06)4790-7333 営業所 ●北海道 (011)729-2130 ●東北 (022)207-3370 ●名古屋 (052)757-5722 ●九州 (092)441-1286

※掲載の内容は2024年1月現在のものです。



ともに育んでいく。

ともに繋いでいく。

CROSSWILL MEDICAL

クロスウィルメディカル株式会社

本社：〒950-8701 新潟市東区紫竹卸新町 1808 番地 22

事業所：秋田・大館・横手・山形・酒田・鶴岡・高崎・さいたま

熊谷・佐倉・虎ノ門・新潟・長岡・上越・佐渡

